

学 習 の 指 針 (シラバス)

教科名	国 語	実施学年	1 年	週時数	4 時間
-----	-----	------	-----	-----	------

1 学習の目標等

学習の目標	<p>(1) 国語に対する関心を深め、進んで表現し、理解できる。</p> <p>(2) 自分の考えを深め、目的や場所に応じ筋道を立てて話したり、的確に聞き取ったりできる。</p> <p>(3) 自分の考えを深め、相手や目的に応じ、筋道を立てて適切に文章を書ける。</p> <p>(4) 目的に応じて様々な文章を的確に読み取り、理解できる。</p> <p>(5) 表現と理解に役立てるための、漢字や文法等について理解し、知識を身につけ、正しく整った文字を書く力をつける。</p>
使用教科書 副教材等	伝え合う言葉Ⅰ(教育出版)、中学書写、国語の学習(明治図書)、学習漢字ノート(浜島書店)、国語辞典

2 学習計画及び評価方法等

学期	月	学習内容	学習のねらい	備 考	評価
第 1 学期	4	(詩) 「ふしぎ」	<ul style="list-style-type: none"> ・ 作者がとらえる「ふしぎ」について考える。 ・ 詩の技法について知る。 ・ 作者が書いた詩を図書館などで探してみる。 	授業用 ノート 作り	振り返り シート 作文 漢字小テスト
	5	(展開・描写) 「桜蝶」 (話す・聞く) 「お気に入りの一品を紹介する」 (構成) 「自分の脳を知っていますか」 (構成と表現) 「オツベルと象」	<ul style="list-style-type: none"> ・ 文学作品の構成や展開を描写をもとに理解する。 ・ 伝えたいことを明確にして、お気に入りの一品を紹介する。 ・ 文章の構成を捉え、要約に生かす。 		
	6	(文法) 「言葉の単位」 (描写) 「河童と蛙」	<ul style="list-style-type: none"> ・ 白象が「寂しく笑った」理由について考え作者の思いに気づく。 ・ 文章、段落、文、文節、単語について理解する。 ・ 場面と描写を結びつけて読み、詩の内容を理解する。 	文法用 テキスト	定期テスト 群読
第 2 学期	9	(伝統文化) 「昔話と古典」 「物語の始まり」 (書く) 「森には魔法つかいがいる」	<ul style="list-style-type: none"> ・ 古典にはさまざまな作品があることを知り、古典の仮名遣いにふれる。 ・ 必要な情報に着目して、調べたり考えたりしながら読む。 ・ 問いとその答えを見つけていく展開を捉えて読む。 		振り返り シート 作文 漢字小テスト
10	(書く) 「広告の情報を考える」 (読書) 「ベンチ」	<ul style="list-style-type: none"> ・ 写真を見るときの観点を知り、写真の特徴を理解する。 ・ 広告を見るときの観点を知り、広告の特徴について理解する。 ・ 本や文章から必要な知識や情報を集めたりそれらを活用したりするための方法を身につける。 			

期	11	(伝統文化) 「故事成語」	・古典にはさまざまな作品があることを知り、古典の仮名遣いにふれる。	文法用 テキスト	定期テスト
	12	(文法) 「文の成分」 (読書) 「蜘蛛の糸」 (文法) 「単語のいろいろ」 (書写) 「楷書で書こう」 「行書で書いてみよう」	・文節と文節の相互の関係について理解する。 ・わが国を代表する作家とその作品についてふれ、近代の小説や物語を読む。 ・自立語と付属語、活用の有無などの、分類の基準について理解する。 ・楷書や行書の筆使いを理解して書く。		
第3学期	1	(詩) 「四季の詩」 (構成・展開) 「言葉がつなぐ世界遺産」	・それぞれの詩の題材を捉え、描かれたイメージを想像する。		振り返り シート 作文 漢字小テスト
	2	(展開・心情) 「少年の日の思い出」	・事実と意見の関係、文章の構成や展開に注意して読み、筆者の考えを捉える。 ・場面の展開や登場人物の心情の変化を描写に基づきながら捉える		
	3	(話す・聞く) 「子どもの権利」	・専門的な事柄などを表す語句の意味をおさえ文章内容を捉える。		
学習の中に、適宜織り込む教材 「聞く」「書く」「話す」の教材					

3 評価について

(1) 評価の観点及び内容・評価材料

	評価の観点及び内容	評価材料
知識・技能	社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができる。	・定期テスト ・漢字テスト ・小テスト
思考・判断・表現	筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを確かなものにすることができる。	・定期テスト ・スピーチ ・作文、意見文
主体的に学習に取り組む態度	言葉がもつ価値に気付くとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。また、試行錯誤しながら学びに向かい、学習方法の工夫などを自ら行おうとする態度を養う。	・授業態度 ・振り返りシート ・作品、提出物等

(2) 観点別評価からの評定の算出の仕方

A = 3点、B = 2点、C = 1点、として5つの観点別評価を合計し、下の表に照らして評定を算出します。

評定	観点別評価の合計
5	9
4	8
3	5~7
2	4
1	3

学習の指針(シラバス)

教科名	国語	実施学年	2年	週時数	4時間
-----	----	------	----	-----	-----

1 学習の目標等

学習の目標	<p>(1) 自分のものの見方や考え方を深め、目的や場面に応じて的確に話したり聞いたりする能力を身に付けるとともに、話し言葉を豊かにする。</p> <p>(2) 様々な材料を基にして自分の考えを深め、自分の立場を明らかにして、論理的に書き表す能力を身に付け、文章を書くことによって生活を豊かにしようとする態度を育てる。</p> <p>(3) 目的や意図に応じて文章を読み、広い範囲から情報を集め、効果的に活用する能力を身に付け、読書を生活に役立て、自己を向上させようとする態度を育てる。</p>
使用教科書・副教材等	伝え合う言葉2(教育出版)、国語の学習2、新しい文法ワーク、単元別漢字学習、国語便覧、国語辞典

2 学習計画及び評価方法等

	月	学習内容	学習のねらい	評価
第1 学期	4	詩歌「虹の足」	<ul style="list-style-type: none"> ・詩に描かれた作者の感動を読み取る。 ・比喩的な表現が表しているものを考え、理解する。 	授業ノート 振り返りシート
	5	小説「タオル」	<ul style="list-style-type: none"> ・登場人物の気持ちの変化を捉え、表現の効果を考える。 ・文学的な表現を通じて語感を磨き、語彙を豊かにする。 	授業ノート ワーク
	6	論説文「日本の花火の楽しみ」	<ul style="list-style-type: none"> ・意見と根拠、具体と抽象など情報と情報の関係について理解する。 	授業ノート ワーク
		論説文「水の山 富士山」	<ul style="list-style-type: none"> ・説明の仕方という観点に着目しながら読み比べる。 	漢字テスト
7	言語「敬語」 構成を明確にして手紙を書く	<ul style="list-style-type: none"> ・敬語のはたらきや特徴について理解する。 ・相手に対して適切に言葉を選べるようになる。 	文法テスト 定期テスト	
	メディアと表現「SNSから自由になるために」	<ul style="list-style-type: none"> ・小説と脚本の違いを理解し、小説を脚本に書き換えることができる。 		
第2 学期	9	SDGs「持続可能な未来を創るために——不平等のない社会を考える」	<ul style="list-style-type: none"> ・持続可能な社会の実現に向けて課題意識を持つことができる。 	授業ノート
		論説文「紙の建築」	<ul style="list-style-type: none"> ・事例と主張を関連付けて読み、筆者の行動とそれを支える考えを捉える。 	漢字テスト
		文法「活用のある自立語」	<ul style="list-style-type: none"> ・用言の活用と種類・用法を理解する 	文法テスト
	10	古文「敦盛の最期」 古文「随筆の味わい——枕草子・徒然草」	<ul style="list-style-type: none"> ・文語のきまりを知り古文を音読する。 ・古人のものの見方や考え方に対して、自分の考えをもつ。 	授業ノート 音読
		漢文「孔子の言葉」	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉の意味を正確に捉えることができる。 ・文章の特徴を生かしながら音読したり暗唱したりして、漢文の表現に慣れる。 	授業ノート
		読書「坊ちゃん」	<ul style="list-style-type: none"> ・我が国を代表する作家とその作品について触 	

	11	短歌「短歌の味わい」 小説「夏の葬列」 論説文「ガイアの知性」	れ、近代の小説の面白さに気づく。 ・作品を読み、それに対する鑑賞文を書く。 ・作品の構成や展開、表現の効果について考えを深める。 ・自然や知性に対する筆者の考え方について、自分のもつ知識や経験と結び付けまとめる。 ・自分と話し手との考えを比較しながら、スピーチしたり、聞いたりすることができる。 ・付属語にはどのようなものがあるか知る。	授業ノート 授業ノート 漢字テスト
	12	話す「相違点を明確にして聞く」 文法「付属語のいろいろ」		定期テスト 文法テスト
第3学期	1	評論「学ぶ力」 詩歌「豚」	・筆者の述べる主張と事実の関係を、表現の仕方から判断できるようにする。 ・詩の構成や展開を踏まえ、詩の世界を豊かに想像する。	授業ノート 授業ノート
	2	小説「走れメロス」	・抽象的な概念を表す語句の量を増やし、自分の表現に役立てる。 ・登場人物や語り手のものの見方や考え方について理解し、自分の考えを深める。	
	3	言葉の小窓「類義語・対義語・多義語・同音語」 書く「連作ショートショートを書く」 文法の復習	・日常生活で使う言葉を、いつもと違った視点から捉えなおす。 ・表現したい内容に合った言葉を選び、語彙を豊かにする。 ・1年間で学んだ文法を復習する。	定期テスト

3 評価について

(1) 評価の観点及び内容

	評価の観点及び内容	評価教材
知識・技能	社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができる。	・定期テスト ・漢字テスト ・小テスト
思考・判断 ・表現	筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを確かなものにすることができる。	・定期テスト ・スピーチ ・作文、意見文
主体的に 学習に 取り組む態度	言葉がもつ価値に気付くとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。また、試行錯誤しながら学びに向かい、学習方法の工夫などを自ら行おうとする態度を養う。	・作文 ・スピーチ ・振り返り、まとめ ・作品、提出物等

(2) 観点別評価からの評定の算出の仕方

A=3点、B=2点、C=1点として4つの観点別評価を合計し、下の表に照らして評定を算出します。

評定	観点別評価の合計
5	9点
4	8点
3	5～7点
2	4点
1	3点

学習の指針(シラバス)

教科名	国語	実施学年	3年	週時数	3時間
-----	----	------	----	-----	-----

1 学習の目標等

学習の目標	<p>(1) 自分のものの見方や考え方を深め、目的や場面に応じて的確に話したり聞いたりする能力を身に付けるとともに、話し言葉を豊かにする。</p> <p>(2) 様々な材料を基にして自分の考えを深め、自分の立場を明らかにして、論理的に書き表す能力を身に付け、文章を書くことによって生活を豊かにしようとする態度を育てる。</p> <p>(3) 目的や意図に応じて文章を読み、広い範囲から情報を集め、効果的に活用する能力を身に付け、読書を生活に役立て、自己を向上させようとする態度を育てる。</p>
使用教科書・副教材等	伝え合う言葉3(教育出版)、国語の学習3、中学国文法のドリル、国語便覧、国語辞典

2 学習計画及び評価方法等

	月	学習内容	学習のねらい	評価	
第1学期	4	詩歌「春に」 随筆「立ってくる春」 随筆「なぜ物語が必要なのか」 小説「私」	<ul style="list-style-type: none"> ・詩に描かれた「気もち」と比較しながら今の自分の気持ちを見つめる。 ・「立ってくる春」に表現されている「私」の気持ちについて考える。 ・主人公にとっての「物語」の役割について筆者の考えを捉える。 ・文章を吟味して読み、文章に表れているものの見方や考え方について批評する。 	授業ノート 漢字ノート ワーク 条件作文 1 分間スピーチ	
	5	読書「薔薇のボタン」 俳句「俳句の味わい」	<ul style="list-style-type: none"> ・目的に応じて本や文章などを読み、知識を広げたり、自分の考えを深めたりする。 ・それぞれの俳句の魅力について話し合う。 ・季語や表現の工夫をしながら思い出を俳句にする。 	単元テスト 期末テスト	
	6	漢字の広場1 文法の復習 論説「AIは哲学できるか」	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字の音の歴史について理解する。 ・今までの文法の復習をする。 ・文章の内容について検討したり、吟味したりしながら筆者のものの見方や考え方を捉え、自分の考えを述べる。 		
	7	漢字の広場2 言葉の小窓1 論説「async—同期しないこと」 論説「問いかける言葉」	<ul style="list-style-type: none"> ・熟字訓についての理解を深める。 ・和語、漢語、外来語について理解し、効果的に使い分ける。 ・「async」の文章の個性や展開、表現の仕方について図式化しながら整理する。 ・文章を読み、社会や他者との関わり方について自分の考えを広げたり、深めたりする。 		

第2学期	9	書く「説得力のある批評文を書く」	・伝えたいことを明らかにし、説得力のある文章を書く。	授業ノート 漢字ノート ワーク
	10	文法の復習 古文「旅への思い」 古文「和歌の調べ」	・「旅への思い」を通読し、「おくのほそ道」や芭蕉について理解を深める。 ・古人のものの見方や考え方について話し合い、自分の考えを深める。	条件作文 暗唱テスト 1分間スピーチ
	11	漢文「風景と心情」 読書「最後の一句」	・詩の形式や表現の工夫などを理解して暗誦し、作品の響きを味わう。 ・近代文学作品を読み、近代の作家や作品をまとめる。	単元テスト 期末テスト
	12	詩「初恋」 小説「故郷」	・表現上の工夫に注意して暗唱する。 ・「希望」について考え、人間、社会などについて自分の意見を持つ。	
第3学期	1	総合問題 漢字の復習 その他言語の復習 文法の復習	・これまで学習した漢字や文法の復習をする。また、時間を設定して条件を満たすように作文を書く。そして、聞き取りテストや過去問題・総合問題に取り組み、入試に備える。	授業ノート 漢字ノート ワーク 期末テスト
	2	条件作文 聞き取りなど		

3 評価について

(1) 評価の観点及び内容

	評価の観点及び内容	評価教材
知識・技能	社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができる。	・定期テスト ・漢字テスト ・小テスト
思考・判断 ・表現	筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを確かなものにすることができる。	・定期テスト ・スピーチ ・作文、意見文
主体的に 学習に 取り組む態度	言葉がもつ価値に気付くとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。また、試行錯誤しながら学びに向かい、学習方法の工夫などを自ら行おうとする態度を養う。	・作文 ・スピーチ ・振り返り、まとめ ・作品、提出物等

(2) 観点別評価からの評定の算出の仕方

A=3点、B=2点、C=1点として4つの観点別評価を合計し、下の表に照らして評定を算出します。

評定	観点別評価の合計
5	9点
4	8点
3	5～7点
2	4点
1	3点

学 習 の 指 針 (シラバス)

教科名	数 学	実施学年	1 年	週時数	4 時間
-----	-----	------	-----	-----	------

1 学習の目標等

学習の目標	<p>(1) 数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身につけるようにする。</p> <p>(2) 数学を活用して事象を論理的に考察する力、数量や図形などの性質を見だし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。</p> <p>(3) 数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度を養う。</p>
使用教科書・副教材等	東京書籍新しい数学Ⅰ・明治図書よくわかる数学の学習

2 学習計画及び評価方法等

	月	学習内容	学習のねらい	備 考	評 価
第 1 学 期	4	0章算数から数学へ 1節. 整数の性質	○数の性質やきまりを見いだすことができる。	3時間	※ 各単元終了後に単元テストを行います。
	5	1章正・負の数 数の世界をひろげよう 1節. 正負の数 2節. 加法と減法	○正の数・負の数を理解し、四則計算ができる。 1. 負の数の必要性を知り正・負の数の意味を理解する。	25時間	
	6	3節. 文字式の利用	2. 正・負の数の四則計算の意味を理解し計算ができる。 3. 具体的な場面で、正の数・負の数を用いて表現し処理することができる。		
	7	2章文字の式 数学のことは身につけよう 1節. 文字を使った式 2節. 文字式の計算 3節. 文字式の利用	○文字を用いて式に表現したり、式の意味を読み取ったりでき、文字式の計算ができる。 1. 文字を用いることの意義を理解する。 2. 文字式の乗法・除法の表し方を知り一次式の加法・減法の計算ができる。 3. 数量の大小関係を、等式や不等式であらわすことができる。	18時間	定期テスト
第 2 学 期	9	3章方程式 未知の数の求め方を考えよう 1節. 方程式とその解き方 2節. 1次方程式の利用	○方程式を理解し、それを用いることができる。 1. 方程式、その中の文字、解の意味を理解できる。 2. 等式の性質を見だし、方程式がそれを基に解けることを知る。 3. 方程式が解け、利用できる。 4. 比例式の意味を知り、それを解くことができる。	14時間	

	10	4章 比例と反比例 数量の関係を調べて問題を解決しよう 1 節. 関数と比例・反比例 2 節. 比例の性質と調べ方 3 節. 反比例の性質と調べ方 4 節. 比例と反比例の利用	○二つの数量の変化や対応を調べることを通して、関数の中の比例、反比例の関係をみだし考察できる。 1. 関数の意味を理解できる。 2. 比例・反比例の意味を理解できる 3. 座標の意味を理解する。 4. 比例、反比例を表、式、グラフで表せ、特徴を理解する。 5. 比例、反比例の見方、考え方を活用できる。	22 時間	
	11				
	12	5章 平面図形 平面図形の見方をひろげよう 1 節. 図形の移動 2 節. 基本の作図 3 節. おうぎ形	○基本的な図形を見通しを持って、作図でき、平面図形の理解を深める。 1. 直線、線分、角の意味や表し方を理解するとともに、垂直、平行などについて理解する。 2. 図形の移動の意味と、その性質について理解する。 3. 基本的な作図のしかたについて理解し、それを利用することができるようにする。 4. 円やおうぎ形についての意味を知り、おうぎ形の中心角と弧の長さ、中心角と面積の関係について理解する。	17 時間	定期テスト
第3学期	1	6章 空間図形 立体の見方をひろげよう 1 節. いろいろな立体 2 節. 立体の見方と調べ方 3 節. 立体の体積と表面積	○空間図形を観察、操作を通して考察し理解を深め、図形の計量ができる。 1. 空間での直線や平面の位置関係がわかる。 2. 空間図形を直線や平面図形の運動により構成されるものととらえ、空間図形を平面上に表現できる。 3. 柱体、錐体、球の表面積、体積を求められる。 4. 投影図を理解し、読み取ることができる。	18 時間	
	2				
	3	7章 データの分析と活用 データを活用して判断しよう 1 節. データの整理と分析 2 節. データの活用 3 節. ことからの起こりやすさ	○代表値や資料の散らばりに着目してその資料の傾向を読み取ることができる。 1. 度数分布表やヒストグラムに表したり相対度数を求めたりして、資料の傾向を読み取ることができる。 2. 平均値、中央値、最頻値の意味や求め方を理解する。 3. ヒストグラムや代表値などを用いて資料の傾向を説明することができる。 4. 多数の観察や多数回の試行によって得られる確率の必要性和意味を理解する。	10 時間	定期テスト

3. 評価について

(1) 評価の観点及び内容・評価材料

	評価の観点及び内容	評価材料
知識・技能	数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解している。事象を数学化したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。	○定期テスト、単元テスト ○小テスト
思考・判断・表現	数学を活用して事象を論理的に考察する力，数量や図形などの性質を見だし統合的・発展的に考察する力，数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付けている。	○定期テスト、単元テスト ○小テスト
主体的に学習に取り組む態度	数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え，数学を生活や学習に生かそうとしたり，問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしていたりしている。	○授業態度 ○小テスト ○ノート ○振り返りシート ○ワーク

(2) 観点別評価からの評定の算出の仕方

A=3点，B=2点，C=1点として3つの観点別評価を合計し，下の表に照らして評定を算出します。

評定	観点別評価の合計
5	9点
4	8点
3	5～7点
2	4点
1	3点

学 習 の 指 針 (シラバス)

教科名	数 学	実施学年	2 年	週時数	3 時間
-----	-----	------	-----	-----	------

1 学習の目標等

学習の目標	<p>(1)文字を用いた式と連立方程式、平面図形と数学的な推論、一次関数、データの分布と確率などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数学科したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2)文字を用いて数量の関係や法則などを考察する力、数学的な推論の過程に着目し、図形の性質や関係を論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、その特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、複数の集団のデータの分布に着目し、その傾向を比較して読み取り批判的に考察して判断したり、不確定事象の起こりやすさについて考察したりする力を養う。</p> <p>(3)数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度、多様な考えを認め、よりよく問題解決しようとする態度を養う。</p>
使用教科書・副教材等	東京書籍新しい数学2 副教材を入れる

2 学習計画及び評価方法等

	月	学習内容	学習のねらい	備 考	評 価
第 1 学 期	4	1章 文字式を使って説明しよう 1節. 式の計算 2節. 文字式の利用	○数量の関係を文字式で表現でき四則計算ができる。 1. 整式の加法、減法、単項式の乗法、除法の計算ができる。 2. 数量関係を、文字式を用いて表現したり、説明したりできる。 3. 目的により式を変形できる。連立方程式を理解し、それを用いることができる。	15 時間	※各単元終了後に単元テストを行います。
	5				
	6	2章 方程式を利用して問題解決しよう 1節. 連立方程式とその解き方 2節. 連立方程式の利用	○連立二元一次方程式について理解し、それを用いて考察することができる。 1. 二元一次方程式とその解の意味を理解する。 2. 連立方程式を解くことができ、それを利用できる。	12 時間	定期テスト
	7				

第2学期	9	3章 関数を利用して問題を解決しよう 1節. 1次関数 2節. 1次関数の性質と調べ方 3節. 2元1次方程式と1次関数 4節. 1次関数の利用	○2つの数量を取り出し、その変化や対応を調べることを通して、1次関数を理解し、関数関係を見だし考察することができる。 1. 事象の中に1次関数としてとらえられるものがあることを知る。 2. 値の変化の割合とグラフの特徴を理解し、利用できる。 3. 二元一次方程式を関数を表す式と見ることができる。	19時間	定期テスト
	10	4章 図形の性質の調べ方を考えよう 1節. 説明のしくみ 2節. 平行線と角 3節. 合同な図形	○基本的な図形の性質を見だし、平行線の性質を利用し確かめられる 1. 平行線や角の性質を理解し、図形の性質を確かめられる。 2. 基本性質を基に多角形の角の性質をみいだせる。 3. 証明の意義と方法を理解する。 4. 三角形の合同条件を理解し、図形の性質を論理的に確かめられる。	15時間	
	11	5章 図形の性質を見つけて証明しよう 1節. 三角形 2節. 平行四角形	○基本的な図形の性質を見だし、合同などを利用し確かめられる。 1. 特別な三角形の性質を見つけ、論理的に証明することができる。 2. 平行四角形の性質を見つけ、論理的に証明することができる。また、平行四角形になる条件の理解を深める。 3. 特別な平行四角形について理解を深める。 4. 平行線と面積の関係を理解する。	21時間	
第3学期	1	6章 起こりやすさをとらえて説明しよう 1節. 確率 2節. 確率による説明	○不確定な事象についての確率について理解し、それを用いて考察し表現することができる。 1. 起こりえる場合を順序よく整理できる。 2. 確率の意味を理解し、求めることができる。	9時間	定期テスト
	2	7章 データを比較して判断しよう 1節. 四分位範囲と箱ひげ図	○箱ひげ図や四分位範囲を用いてデータの傾向を読み取り、批判的に考察して判断し、問題を解決できる。 1. 箱ひげ図や四分位範囲の必要性和意味を理解し、作成したり、求めたりすることができる。 2. 複数のデータの傾向を比較して読み取り、批判的に考察し判断できる。	5時間	
	3				

3. 評価について

(1) 評価の観点及び内容・評価材料

	評価の観点及び内容	評価材料
知識・技能	数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解している。事象を数学化したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。	○単元テスト・定期テストの「知識・技能」の問題 ○小テスト ☆授業態度 ☆ノート
思考・判断・表現	数学を活用して事象を論理的に考察する力，数量や図形などの性質を見だし統合的・発展的に考察する力，数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付けている。	○単元テスト・定期テストの「思考」の問題 ○小テスト ☆授業態度 ☆ノート
主体的に学習に取り組む態度	数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え，数学を生活や学習に生かそうとしたり，問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしていたりしている。	☆授業態度 ☆ノート ○マイマス ○ワーク

☆印の項目は，授業を欠席した場合評価に含めることができない場合があります。

(2) 観点別評価からの評定の算出の仕方

A=3点，B=2点，C=1点として3つの観点別評価を合計し，下の表に照らして評定を算出します。

評定	観点別評価の合計
5	9点
4	8点
3	5～7点
2	4点
1	3点

学 習 の 指 針 (シラバス)

教科名	数 学	実施学年	3 年	週時数	4 時間
-----	-----	------	-----	-----	------

I 学習の目標等

学習の目標	<p>(1) 数の平方根，多項式と二次方程式，図形の相似，円周角と中心角の関係，三平方の定理，関数 $y=ax^2$，標本調査などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 数の範囲に着目し，数の性質や計算について考察したり，文字を用いて数量の関係や法則などを考察したりする力，図形の構成要素の関係に着目し，図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力，関数関係に着目し，その特徴を表，式，グラフを相互に関連付けて考察する力，標本と母集団の関係に着目し，母集団の傾向を推定し判断したり，調査の方法や結果を批判的に考察したりする力を養う。</p> <p>(3) 数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え，数学を生活や学習に生かそうとする態度，問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度，多様な考えを認め，よりよく問題解決しようとする態度を養う。</p>
使用教科書・副教材等	東京書籍 新しい数学3 数学の学習 (ワーク)

2 学習計画及び評価方法等

	月	学習内容	学習のねらい	備考	テスト範囲
第 I 学 期	4	1章 文字式を使っ て説明しよう 1節. 多項式の計算 2節. 因数分解 3節. 式の計算の利 用	○式の展開ができるようにする。因数と 素数の意味を理解し因数分解ができるよ うにする。展開や因数分解を利用し計算 やある事象の証明ができるようにする。	19 時間	※各単元終 了後に単元 テストを行 います。
	5	2章 数の世界をさ らにひろげよう 1節. 平方根 2節. 根号を含む式 の計算 3節. 平方根の利用	○平方根の意味と根号の使い方を理解 し、根号を含む式の計算ができるように する。	16 時間	定期テスト
	6	3章方程式を利用し て問題を解決しよう 1節. 2次方程式と その解き方	○二次方程式とその解の意味を理解し、 二次方程式を解けるようにする。平方完 成や解の公式を理解し、それらを用いて 二次方程式を解くことができるようにす る。	15 時間	
	9	2節. 2次方程式の 利用	○二次方程式を身の回りの事象で利用で きるようにする。		

第 2 学 期	10	4章 関数の世界を ひろげよう 1節. 関数 $y = ax^2$ 2節. 関数 $y = ax^2$ の性質と調べ方 3節. いろいろな関 数の利用	○関数 $y = ax^2$ のグラフとその特徴を理解し、変化の割合を求められるようにする。また身のまわりの事象について考え、適切な解き方ができるようにする。	17 時間	定期テスト
	11	5章 形に着目して 図形の性質を調べよ う 1節. 相似な図形 2節. 平行線と比 3節. 相似な図形の 面積と体積	○相似の意味や相似な図形の性質を理解し、相似な三角形の証明ができるようにする。中点連結定理を説明したり活用したりできるようにする。空間図形においても活用できるようにする。	23 時間	
	12	6章 円の性質を見 つけて証明しよう 1節. 円周角の定理 2節. 円周角の定理 の利用	○円周角と中心角の性質を証明したり活用したりできるようにする。	10 時間	

第 3 学 期	1	7章 三平方の定理 を活用しよう	○三平方の定理を理解し証明することが できるようにする。様々な図形の長さを 三平方の定理を利用して求められるよう にする。	13 時間	定期テスト
	2	1節. 三平方の定理 2節. 三平方の定理 の利用			
	2	8章 集団全体の傾向を推測しよう	○全数調査と標本調査の意味を理解し、 標本調査に関わる用語や方法を知り、簡 単な標本調査ができるようにする。	6時間	
	3	1節. 標本調査 予備（問題演習）			

3. 評価について

(1) 評価の観点及び内容・評価材料

	評価の観点及び内容	評価材料
知識・技能	数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解している。事象を数学化したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。	○単元テスト・定期テストの「知識・技能」の問題 ○小テスト ☆授業態度・ふりかえりシート
思考・判断 ・表現	数学を活用して事象を論理的に考察する力、数量や図形などの性質を見だし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付けている。	○単元テスト・定期テストの「思考」の問題 ○小テスト ☆授業態度・ふりかえりシート
主体的に学習に取り組む態度	数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとしたり、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしたりしている。	○単元テスト・定期テストの「思考」の問題 ○小テスト ☆授業態度・ふりかえりシート

☆印の項目は、授業を欠席した場合評価に含めることができない場合があります。

(2) 観点別評価からの評定の算出の仕方

A=3点, B=2点, C=1点として3つの観点別評価を合計し、下の表に照らして評定を算出します。

評定	観点別評価の合計
5	9点
4	8点
3	5～7点
2	4点
1	3点

学習の指針（シラバス）

教科名	外国語	実施学年	1年	週時間	4時間
-----	-----	------	----	-----	-----

1. 学習の目標

学習の目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. はっきりと話されれば、日常的な話題について、必要な情報を聞き取ることができる。 2. 日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれたものから必要な情報を読み取ることができる。 3. 関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて即興で伝え合うことができる。 4. 関心のある事柄や体験したことなどについて、話すことができる。 5. 関心のある事柄や体験したことなどについて、簡単な語句や文を用いて正確に書くことができる。
使用教科書・副教材等	<ul style="list-style-type: none"> <li style="width: 50%;">・教科書：NEW HORIZON I <li style="width: 50%;">・ワーク：エイゴラボ① <li style="width: 50%;">・単元テスト：観点別評価Wプリント <li style="width: 50%;">・Talk & Talk <li style="width: 50%;">・紙ファイル

1. 学習計画及び評価方法等

	月	学習内容	学習のねらい	備考	評価	
1 学期	4	Unit 0 Welcome to Junior Highschool	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校で習った表現を使って、自分と相手のことについてやり取りすることができる。 	ALT との チーム ティーチ ング	単元テスト	
		Unit 1 New School, New Friends	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分がふだんよくすることや、できることを伝えることができる。 			
	5	Unit 2 Our New Teacher	<ul style="list-style-type: none"> ・ 身近な人やものについて紹介したり、たずねたりすることができる。 			単元テスト 定期テスト
	6	Unit 3 Club Activities	<ul style="list-style-type: none"> ・ いつ・どこなのかをたずねたり、数をたずねたりすることができる。 			単元テスト
	7	Unit 4 Friends in New Zealand	<ul style="list-style-type: none"> ・ 相手に指示したり、時刻や好きなものをたずねたりすることができる。 			単元テスト 発表テスト
		Unit 5 A Japanese Summer Festival Stage Activity I “All about Me” Poster	<ul style="list-style-type: none"> ・ いった場所や、そこで楽しんだことなどについて、話すことができる。 ・ 自分の好きな事について、つながりのある文章を書くことができる。 	単元テスト 発表テスト		

2 学 期	9	Small Talk! 1	<ul style="list-style-type: none"> 自分と相手以外の人やものなどについて、たずねたり伝えたりすることができる。 	ALT と のティ ームテ ィーチ ング	宿題確認テ スト
	10	Unit 6 A speech about My Brother Let' s Talk 1 お願い	<ul style="list-style-type: none"> 身近な人に許可を求めたり、依頼したりすることができる。 		単元テスト
		Unit 7 Foreign Artists in Japan	<ul style="list-style-type: none"> 自分と相手以外の人について話したり、どちらなのか、だれのものなのかをたずねたりすることができる。 		単元テスト 定期テスト
		Let' s Talk 2 体調	<ul style="list-style-type: none"> 相手の体調についてたずねたり、自分の体の不調について説明することができる。 		発表テスト
		Let' s Listen 1 留学生のプロフィール	<ul style="list-style-type: none"> 人に関する紹介を聞いて、基本情報やその人がどのような人かを理解することができる。 		単元テスト
	11	Unit 8 A Surprise Party Let' s Write 1 お祝い	<ul style="list-style-type: none"> 今していることについて説明したり、たずねたりすることができる。 		単元テスト
		Unit 9 Think Globally, Act Locally	<ul style="list-style-type: none"> 目的に合わせたカードを書くことができる。 		単元テスト
		Let' s Talk 3 道案内	<ul style="list-style-type: none"> したいことや、する必要のあることなどについて説明したり、たずねたりすることができる。 		会話テスト
	12	Let' s Listen 2 欠席した友達への電話連絡 Stage Activity 2 My Hero	<ul style="list-style-type: none"> 徒歩での道順をたずねたり、教えたりすることができる。 友達にあとで伝えるべき情報を聞き取ることができる。 		
		Let' s Read 1 Let' s Climb Mt. Fuji	<ul style="list-style-type: none"> 好きな有名人やあこがれの人についてたずねたり、説明したりすることができる。 図や表などの情報を参考に、書き手の考えを読み取ることができる。 		

3 学 期	1	Unit 10 Winter Vacation	<ul style="list-style-type: none"> 過去の出来事について説明したり、たずねたりすることができる。 	ALT と の ティ ーム テ ィー チ ング	単元テスト
	2	Unit 11 This Year' s Memories	<ul style="list-style-type: none"> 過去の状態や気持ち、過去のある時点にしていたことについて説明することができる。 		単元テスト 定期テスト
	3	Let' s Talk 4 レストラン Let' s Listen 3 ラジオ DJ のトーク Stage Activity 3 My Favorite Event This Year Learning <i>LITERATURE</i> in English Let' s Read 2 City Lights	<ul style="list-style-type: none"> レストランなどで、注文をしたり質問に答えたりすることができる。 休暇の思い出など日常的な話を聞いて、主な内容を聞き取ることができる。 思い出に残った学校行事について発表することができる。 英語で書かれた文学作品を聞いて話の概要を捉え、物語の構成を理解することができる。 物語を読んで、場面の变化や登場人物の心情などを理解することができる。 		会話テスト

3. 評価について

(1) 評価の観点及び内容・評価材料

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り 組む態度	評価材料
聞 く こ と	<p>[知識] 英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。</p> <p>[技能] 実際のコミュニケーションにおいて、日常的话题や社会的な話題について、はっきりと話された文章等を聞いて、その内容を捉</p>	<p>コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的话题や社会的な話題についてはっきりと話される文章を聞いて、必要な情報や概要、要点を捉えている。</p>	<p>外国語の背景にある文化に対する理解を深め、話し手に配慮しながら、主体的に英語で話されることを聞こうとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 会話テスト 単元テスト リスニングテスト 定期テスト

	える技能を身に付けている。			
読むこと	<p>[知識] 英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。</p> <p>[技能] 実際のコミュニケーションにおいて、日常的な話題や社会的な話題について書かれた短い文章等を読んで、その内容を捉える技能を身に付けている。</p>	<p>コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について書かれた短い文章を読んで、必要な情報や概要、要点を捉えている。</p>	<p>外国語の背景にある文化に対する理解を深め、書き手に配慮しながら、主体的に英語で書かれたことを読もうとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・単元テスト ・定期テスト
話すこと・やり取り	<p>[知識] 英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。</p> <p>[技能] 実際のコミュニケーションにおいて、日常的な話題や社会的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて伝え合う技能を身に付けている。</p>	<p>コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて、伝え合っている。</p>	<p>外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、話し手に配慮しながら、主体的に英語を用いて伝え合おうとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・会話テスト ・単元テスト ・定期テスト
話すこと・発表	<p>[知識] 英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。</p> <p>[技能] 実際のコミュニケーションにおいて、日常的な話題や社会的な話題などについて、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて話す技能を身に付けている。</p>	<p>コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて、話している。</p>	<p>外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手に配慮しながら、主体的に英語を用いて話そうとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・スピーチテスト ・会話テスト
書くこと	<p>[知識] 英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。</p> <p>[技能] 実際のコミュニケーションにおいて、日常的な話題や社会的な話題などについて、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて、またはそれらを正確に用いて書く技能を身に</p>	<p>コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題などについて、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて、書いている。</p>	<p>外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に英語を用いて書こうとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・単元テスト ・定期テスト

付けている。			
--------	--	--	--

授業を欠席した場合評価に含めることができない場合があります。

(2) 観点別評価からの評定の算出の仕方

A=3点、B=2点、C=1点として3つの観点別評価を合計し、下の表に照らして評定を算出します。

評定	観点別評価の合計
5	9点
4	8点
3	5～7点
2	4点
1	3点

学習の指針（シラバス）

教科名	外国語	実施学年	2年	週時間	4時間
-----	-----	------	----	-----	-----

1. 学習の目標

学習の目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. はっきりと話されれば、日常的な話題について、話の概要を聞き取ることができる。 2. 日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれたまとまりのある文章の概要をとらえることができる。 3. 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりすることができる。 4. 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話すことができる。 5. 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を書くことができる。
使用教科書 ・副教材等	<ul style="list-style-type: none"> <li style="width: 33%;">・教科書：NEW HORIZON 2 <li style="width: 33%;">・ワーク：エイゴラボ② <li style="width: 33%;">・プラファイル <li style="width: 33%;">・単元テスト：観点別評価Wプリント <li style="width: 33%;">・ノート：英語ニュースタディーノート②前期/後期

2. 学習計画及び評価方法等

	月	学習内容	学習のねらい	備考	評価
I 学 期	4	<u>Unit 0</u> My Spring Vacation	<ul style="list-style-type: none"> ・ 過去形や過去進行形を用いた文、There is [are] …の文を使って、自分の春休みの経験について発表する。 	ALT とのチームティーチング	単元テスト
	5	<u>Unit 1</u> A Trip to Singapore Let' s Talk 1 Learning HOME ECONOMICS in English Let' s Listen 1	<ul style="list-style-type: none"> ・ 海外旅行について書かれた対話文を読み、理解する。be going to や助動詞 will を用いた文、SV00, SVOC の文の形と働きを理解して用いる。 ・ 苦情の伝え方、謝り方の表現を学習する。 ・ 英語で書かれた食品表示を理解する。 ・ 機内放送を聞き、必要な情報を聞き取る。 		
	6	<u>Unit 2</u> Food Travels around the World	<ul style="list-style-type: none"> ・ 対話文を読み、接続詞 when, if, that, because の用法や働きについて学習する。 		

		<p><u>Let' s Talk 2</u></p> <p><u>Let' s Listen 2</u></p> <p>7 <u>Unit 3</u> My Future Job <u>Let' s Write 1</u></p> <p><u>Learning TECHNOLOGY in English</u></p> <p><u>Stage Activity 1</u> A Message to Myself in the Future</p>	<ul style="list-style-type: none"> 英語でていねいに許可を求めたり、依頼したりする方法を身に付ける。 インタビューを聞き、質問の内容や答えを聞き取る。 不定詞の意味と働きについて学ぶ。 留守番電話のメッセージを聞いて内容を理解し、相手に返信メールを書く。 情報技術の活用の仕方を考えるために、その機能について長所・短所を整理してまとめ、考えをやり取りしたり書いたりする。 好きなことや得意なことについて話し合い、自分に合うと思う仕事について書く。 	<p>定期テスト</p> <p>単元テスト</p> <p>発表テスト</p>
2 学 期	9	<p><u>Let' s Read 1</u> History of Clocks <u>Let' s Listen 3</u></p> <p><u>Unit 4</u> Homestay in the United States</p>	<ul style="list-style-type: none"> 説明文を読み、時計についての歴史を読み取る。 英語で天気予報の聞き取りをし、情報を聞き取る。未来の表現について確認する。 助動詞 must や have to を使った表現を学習し、学校生活でしなければならないことなどを表現する。 「～すること」という意味の動名詞表現を学習する。 	<p>宿題確認テスト</p>
	10	<p><u>Let' s Write 2</u></p> <p><u>Let' s Listen 4</u></p>	<ul style="list-style-type: none"> ホームステイでお世話になった人にお礼の手紙を書く。英語での手紙の書き方を学習する。 電車の運行情報を聞き、必要な情報を聞きとる。 	<p>単元テスト</p>

		<p><u>Unit 5</u> Universal Design</p> <p><u>Let' s Talk 3</u></p> <p><u>Let' s Listen 5</u></p> <p><u>Unit 6</u> Research Your Topic</p> <p><u>Let' s Talk 4</u></p> <p><u>Stage Activity 2</u> Research and Presentation</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 疑問詞+to 不定詞の表現を学習する。何かの使い方、やり方などを英語で伝えあう活動を行う。 ・ 丁寧な聞き方で乗り換えの仕方や生き方などをたずねる方法を練習する。 ・ 留守番電話を聞き、必要な情報を正確に聞き取る学習をする。 ・ 比較級、最上級、原級を用いて複数のを比べる表現を学ぶ。 ・ more, most や不規則な変化をする比較表現について学ぶ。 ・ Shall I~?を用いて自分の好みや要望を英語で伝える練習をする。 ・ クラスで人気のあるものを調べ、英語でまとめて発表する。 		<p>単元テスト</p> <p>定期テスト</p> <p>会話テスト</p> <p>単元テスト</p> <p>発表テスト</p>
3 学 期	<p>1</p> <p><u>Let' s Read 2</u> A Glass of Milk</p> <p><u>Let' s Listen 6</u></p> <p><u>Unit 7</u> World Heritage Sites</p> <p><u>Let' s Talk 5</u></p> <p><u>Let' s Listen 7</u></p> <p><u>Stage Activity 3</u> My Favorite Place in Our Town</p> <p><u>Let' s Read 3</u> Pictures and Our Beautiful Planet</p> <p>2</p> <p>3</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ ここまでに学習した表現が用いられた英文を読み、内容を読み取る。 ・ 商品のコマーシャルを聞き、必要な情報を聞きとる練習をする。 ・ 受け身形の表現について学習する。身近なものについて受け身形を用いて表現する活動を行う。 ・ 電話でのやり取りを練習する。自分の要望や好みを伝えたり、相手の要望を聞きながら適切に対応する練習をする。 ・ 店内アナウンスを聞いて必要な情報を聞きとる練習をする。 ・ 自分の街についてまとめ、おすすめの場所などを英語で表現し、発表する。 ・ 伝記を読み、内容を正しく読み取って理解する。 	ALT と のティ ームテ ィーチ ング	<p>宿題確認テスト</p> <p>単元テスト</p> <p>学年末テスト</p> <p>発表テスト</p>	

3. (1) 評価の観点及び内容

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	評価材料
聞くこと	<p>[知識] 英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。</p> <p>[技能] 日常的话题や社会的な話題について、はっきりと話された文章等を聞いて、その内容を捉える技能を身に付けている。</p>	<p>コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的话题や社会的な話題についてははっきりと話される文章を聞いて、必要な情報や概要、要点を捉えている。</p>	<p>外国語の背景にある文化に対する理解を深め、話し手に配慮しながら、主体的に英語で話されることを聞こうとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・会話テスト ・単元テスト ・リスニングテスト ・定期テスト
読むこと	<p>[知識] 英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。</p> <p>[技能] 実際のコミュニケーションにおいて、日常的话题や社会的な話題について書かれた短い文章等を読んで、その内容を捉える技能を身に付けている。</p>	<p>コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的话题や社会的な話題について書かれた短い文章等を読んで、必要な情報や概要、要点を捉えている。</p>	<p>外国語の背景にある文化に対する理解を深め、書き手に配慮しながら、主体的に英語で書かれたことを読もうとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・単元テスト ・定期テスト ・振り返りシート
話すこと・やり取り	<p>[知識] 英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。</p> <p>[技能] 実際のコミュニケーションにおいて、日常的话题や社会的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて伝え合う技能を身に付けている。</p>	<p>コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的话题や社会的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて、伝え合っている。</p>	<p>外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、話し手に配慮しながら、主体的に英語を用いて伝え合おうとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・会話テスト ・単元テスト ・定期テスト
話すこと	<p>[知識] 英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。</p> <p>[技能] 実際のコミュニケーションにおいて、日常的话题や社会的な話題などについて、事実や</p>	<p>コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的话题や社会的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて、</p>	<p>外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手に配慮しながら、主体的に英語を用いて話そうとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・スピーチテスト ・会話テスト

発表	自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて話す技能を身に付けている。	話している。		
書くこと	<p>[知識] 英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。</p> <p>[技能] 実際のコミュニケーションにおいて、日常的な話題や社会的な話題などについて、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて、またはそれらを正確に用いて書く技能を身に付けている。</p>	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的话题や社会的な話題などについて、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて、書いている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に英語を用いて書こうとしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・単語テスト ・単元テスト ・定期テスト ・英作文テスト ・振り返りシート

※授業を欠席した場合評価に含めることができない場合があります。

(2) 観点別評価からの評定の算出の仕方

A=3点、B=2点、C=1点として4つの観点別評価を合計し、下の表に照らして評定を算出します。

評定	観点別評価の合計
5	9点
4	8点
3	5～7点
2	4点
1	3点

学 習 の 指 針 (シラバス)

教科名	外国語	実施学年	3年	週時数	4時間
-----	-----	------	----	-----	-----

1 学習の目標

学習の目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. はっきりと話されれば、社会的な話題について、短い説明の要点をとらえることができる。 2. 社会的な話題について、簡単な語句や文で書かれたまとまりのある文章の要点をとらえることができる。 3. 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを簡単な語句や文を用いて述べ合うことができる。 4. 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを簡単な語句や文を用いて話すことができる。 5. 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを簡単な語句や文を用いて書くことができる。
使用教科書 副教材	<ul style="list-style-type: none"> <li style="width: 50%;">・教科書：NEW HORIZON 3 <li style="width: 50%;">・ワーク：E-PLUS③ <li style="width: 50%;">・単元テスト基礎をきずく <li style="width: 50%;">・紙ファイル <li style="width: 50%;">・ノート（各自で購入）

2, 学習計画及び評価

(1) 学習計画

	月	学習内容	学習のねらい	備考	評価
I 学 期	4	Unit 0 Three Interesting Facts about Languages 学び方コーナー① Unit 1 Sports for Everyone	<ul style="list-style-type: none"> ・ 世界で話されている言語について書かれたレポートの情報を読み取る。行ってみたい国とそこで話されている言語について伝え合って書いたりする。 <受け身の文> ・ 英語の語の仕組みや性質について知る。<語い・表現の増やし方> ・ これまでの経験について理解したり伝えるために、情報を整理して要点を捉えたり伝えたりする。 ・ <現在完了形(経験用法, 平叙文)> ・ これまでの経験について、簡単な語句や文を用いてたずねたり、相手からの質問に答えたりする。 	ALT との テ ィ ー ム テ ィ ー チ ン グ	単元テスト 単元テスト リスニング テスト

		<p>5 Let' s Write I</p> <p>Let' s Listen I</p> <p>Unit 2 Haiku in English</p>	<ul style="list-style-type: none"> • < 現在完了形 (経験用法, 疑問文) > • おたがいのことを知るために, これまでの経験について伝え合う。 • < 現在完了形 (経験用法) > • 障がい者スポーツについての文章の概要を捉え, 気持ちの変化について伝える。<SVOC (C=形容詞) > • 障がい者スポーツを支える技術の進歩について書かれた文章の概要を捉えたり, 伝えたりする。<SV00 (that 節) > • 人の経験や希望をもとに, 日本滞在中のプランを考えて発表したり, メールを書いたりする。<現在完了形 (経験用法), SVOC (C=形容詞), SV00 (that 節) > • 表現方法を工夫しながらファンレターを書く。<現在完了形 (経験用法), SVOC (C=形容詞) > • 自分の意見を考えるのに必要な情報を理解することができる。 • < 現在完了形 (経験用法), SVOC (C=形容詞), SV00 (that 節) > • 宿題などの状況について概要を捉えたり, 即興で伝え合ったりする。 • < 現在完了形 (完了用法) > • ある場所に住んでいる期間などについて相手にたずねたり, 相手からの質問に答えたりする。 • < 現在完了形 (継続用法) > • 今の状況や続いている状態について相手にたずねたり, 相手からの質問に答えたりする。 • < 現在完了形 (完了・継続用法) > 		<p>英作文テスト</p> <p>単元テスト リスニング テスト</p>
--	--	---	--	--	--

		<p>Let' s Talk 1</p> <p>Grammar for Communication 1</p> <p>6 Learning <i>SCIENCE</i> in English</p> <p>Let' s Listen 2</p> <p>Unit 3 Animals on the Red List</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 日本の俳句について書かれた文章の概要を捉えたり伝えたりする。 • <現在完了進行形> • 英語の俳句の書き方のルールについて書かれた文章から情報を読み取ったり, 英語俳句を書いたりする。 • <現在完了形, 現在完了進行形> • 自分や相手が好きなことや取り組んできたことについて, たずね合って答えたり, 伝える。<現在完了形, 現在完了進行形> • 初対面の相手に配慮しながら, 歓迎する気持ちを伝えることができる。<現在完了形, 現在完了進行形> • 現在完了形, 現在完了進行形を用いた文の形・意味・用法を復習し, 理解を確かめる。 • <現在完了形, 現在完了進行形> • 人間と環境の関係を考えるために, 食物連鎖や生態系について整理し, 情報をやり取りしたり書いたりすることができる。 • <受け身, 現在完了形, 現在完了進行形> • 社会的な話題に関する講演を聞き, 話し手の伝えたい内容を理解する。<現在完了形, 現在完了進行形> • 絶滅のおそれのある動物などについて書かれた文章の概要を捉えたり, 自分の考えを話したり書いたりする。 • <It is ... (for+ (人など)) + to> • 絶滅のおそれのある動物などについての文章を理解したり, 伝え合ったりする。<want+ (人など) +to> 		<p>会話テスト</p> <p>リスニングテスト</p> <p>単元テスト</p> <p>会話テスト</p> <p>リスニングテスト</p>
--	--	--	--	--	--

		<p>Let' s Write 2</p> <p>Grammar for Communication 2</p> <p>7 学び方コーナー②</p> <p>Stage Activity 1 My Activity Report</p> <p>Let' s Read 1 A Mother' s Lullaby</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 家での手伝いや得意なことについて伝え合う。<It is ... (for + (人など)) +to, want+ (人など) +to> • 絶滅のおそれのあるトキについて書かれた文章を読んで概要を捉えたり,自分の考えを書いたりする。<let [help]+ (人など) +動詞の原形> • 社会的な話題について,理由や根拠を含めて自分の意見を書ける。<I (do not) think ... • I have two reasons. First, ... Second, ... > • 不定詞を用いた文の形・意味・用法を復習し,理解を確かめる。<不定詞> • パラグラフの構成の仕方を理解する。 • これまでの経験をふり返り活動報告を発表する<既習事項の総復習> • ・物語を読んで,場面の変化や登場人物の心情などを理解し,気持ちをこめて音読する。<既習事項の総復習> 		<p>定期テスト 英作文テスト</p> <p>単元テスト</p>
2 学 期	9	<p>Let' s Listen 3</p> <p>Unit 4 Be Prepared and Work Together</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 災害情報を聞き,どう行動すればよいかを理解する。 • 外国人市民意識調査とその結果について書かれた文章の要点を捉えたり伝えたりする。<間接疑問文> • どこにあるか,どのように行動するかなどを教えてほしいと依頼する。<SV00 (what 節) > • 好きな有名人やあこがれの人物の情報を整理して,簡単な語句や文を用いて,たずねたり答えたりする。 	ALT との ティ ム ティ ー チ ン グ	<p>単元テスト</p> <p>単元テスト リスニング テスト</p>

		<p>Let' s Talk 2</p> <p>Learning CIVICS in English</p> <p>Let' s Listen 4</p> <p>Unit 5 A Legacy for Peace</p>	<ul style="list-style-type: none"> • <間接疑問文, SV00 (what 節) > • 日本で地震にあった外国人の体験談について書かれた文章の要点を捉えたり, どのような人かを説明したりする。<現在分詞 > • 外国人支援の取り組みについて書かれた文章の要点を捉えたり, 説明したりする。<過去分詞 > • 標識が何を意味しているかについて, 話したり書いたりする。<間接疑問文, SV00 (what 節), 現在分詞 > • 相手の立場に立ち, 具体的な提案をしながら申し出たり応じたりする。 • <間接疑問文 > • 投票率に関する資料から読み取ったことを伝え合ったり, 身近な話題について公約を考えて発表したりすることができる。<間接疑問文 > • ニュースなどのテレビ番組の音声を聞いて, 概要や要点を理解する。 • <現在分詞, 過去分詞 > • どのような人 [もの] かを理解するために要点を捉えたり, 言葉に情報を加えてどのような人 [もの] かを説明する。<名詞を修飾する文 (接触節) > • どのような人かを理解したり伝えたりするために, 要点を捉えたり, 言葉に情報を加えて説明したりすることができる。<関係代名詞 who > 		<p>会話テスト</p> <p>単元テスト リスニング テスト</p>
--	--	--	--	--	---

	11	<p>Let' s Write 3</p> <p>Grammar for Communication 3</p> <p>Stage Activity 2 Discover Japan</p> <p>Let' s Listen 5</p> <p>Unit 6 Beyond Borders</p>	<ul style="list-style-type: none"> • どのような人やものかを伝えるために、言葉に情報を加えて伝えたり、相手からの質問に答えたりする。<名詞を修飾する文、関係代名詞 who> • ガンディーの生涯と功績について書かれた文章の概要を捉えたり、時間軸に沿って説明したりする。<関係代名詞 that [which] (主格・目的格)> • あこがれの人物についての詳しい情報を整理して加え、書いた原稿をもとに発表したり、その内容について質問したりする。<名詞を修飾する文、関係代名詞> • 資料から読み取った情報について、事実と意見をわけて書く。<関係代名詞> • 後置修飾を用いた文の形・意味・用法を復習し、理解を確かめる。 • <後置修飾> • 日本や郷土の文化などを紹介する文を、詳しい情報を加えながら書く。<既習事項の総復習> • 人物の経歴を聞いて、概要を理解する。<SV00 (what 節)> • 現実とは異なる願い事について書かれた文章の概要を捉えたり伝えたりする。<仮定法 (I wish I could [had] ...) > • 現実とは異なる架空の話の概要を捉えたり、説明したりすることができる。<仮定法 (If+主語+were ..., ~.) > • 現実とは異なる願い事や架空の話について、考えや気持ちを整 		<p>定期テスト 英作文テスト</p>
--	----	---	--	--	-------------------------

		<p>Let' s Talk 3</p> <p>Grammar for Communication 4</p> <p>Let' s Listen 6</p>	<p>理して伝える。〈仮定法〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 国際社会の状況について書かれた文章の概要を捉えたり、意見や感想を伝えたりする。〈仮定法（If+主語+動詞の過去形, …）主語を説明する関係代名詞〉 世界の現状についての話を聞いて概要を捉え、自分の感想や考えを伝える。〈仮定法〉 相手の意見を受けて自分の主張を述べる。 仮定法を用いた文の形・意味・用法を復習し、理解を確かめる。〈仮定法〉 スピーチを聞いて、話の概要を理解する。〈仮定法〉 		<p>リスニングテスト</p> <p>単元テスト 会話テスト</p> <p>定期テスト 英作文テスト</p>
3 学 期	1	<p>Stage Activity 3 Let' s Have a Mini Debate</p> <p>Let' s Read 2 Power Your Future</p>	<ul style="list-style-type: none"> 主張とその理由を明確にしなが ら、ディベートをする。〈既 習事項の総復習〉 エネルギー問題に関する説明文 を読んで、概要を理解し、考え や意見を述べる。〈既習事項の総 復習〉 	ALTとの ティ ーム ティ ー チ ン グ	<p>リスニング テスト スピーチ テスト 単元テスト</p> <p>定期テスト 英作文テ スト 単元テ スト</p>
	2	<p>Let' s Read 3 A Graduation Gift from Steve Jobs</p> <p>学び方コーナー③</p> <p>副教材を用いた受 検対策</p>	<ul style="list-style-type: none"> スピーチの原稿を読んで、内容 の要点を理解し、自分の言葉で 伝える。〈既習事項の総復習〉 自分に合った英語の学習方法 を見つけて、楽しく英語を学び 続けるきっかけを作る。 		

3. 評価について

(1) 評価の観点及び内容・評価材料

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り 組む態度	評価材料
聞くこと	<p>[知識] 英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。</p> <p>[技能] 実際のコミュニケーションにおいて、日常的な話題や社会的な話題について、はっきりと話された文章等を聞いて、その内容を捉える技能を身に付けている。</p>	<p>コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題についてはっきりと話される文章を聞いて、必要な情報や概要、要点を捉えている。</p>	<p>外国語の背景にある文化に対する理解を深め、話し手に配慮しながら、主体的に英語で話されることを聞こうとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・会話テスト ・リスニングテスト ・単元テスト ・定期テスト
読むこと	<p>[知識] 英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。</p> <p>[技能] 実際のコミュニケーションにおいて、日常的な話題や社会的な話題について書かれた短い文章等を読んで、その内容を捉える技能を身に付けている。</p>	<p>コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について書かれた短い文章を読んで、必要な情報や概要、要点を捉えている。</p>	<p>外国語の背景にある文化に対する理解を深め、書き手に配慮しながら、主体的に英語で書かれたことを読もうとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・単元テスト ・定期テスト
話すこと・やり取り	<p>[知識] 英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。</p> <p>[技能] 実際のコミュニケーションにおいて、日常的な話題や社会的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて伝え合う技能を身に付けている。</p>	<p>コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて、伝え合っている。</p>	<p>外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、話し手に配慮しながら、主体的に英語を用いて伝え合おうとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・会話テスト ・定期テスト ・単元テスト
話すこと・発表	<p>[知識] 英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。</p> <p>[技能] 実際のコミュニケーションにおいて、日常的な話題や社会的な話題などについて、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて話す技能を身に付けている。</p>	<p>コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題などについて、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて、話している。</p>	<p>外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手に配慮しながら、主体的に英語を用いて話そうとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・スピーチテスト ・会話テスト ・定期テスト ・単元テスト
書くこと	<p>[知識] 英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。</p> <p>[技能] 実際のコミュニケーションにおいて、日常的な話題や社会的な話題などについて、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて、またはそれらを正確に用いて書く技能を身に付けている。</p>	<p>コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題などについて、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて、書いている。</p>	<p>外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に英語を用いて書こうとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト ・英作文テスト ・単元テスト

授業を欠席した場合評価に含めることができない場合があります。

(2) 観点別評価からの評定の算出の仕方

A=3点、B=2点、C=1点として4つの観点別評価を合計し、下の表に照らして評定を算出します。

評定	観点別評価の合計
5	9点
4	8点
3	5～7点
2	4点
1	3点

学 習 の 指 針(シラバス)

教科名	理科	実施学年	1年	週時間	3時間
-----	----	------	----	-----	-----

1. 学習の目標

学習の目標	(1) 学習やグループの話し合いに積極的に参加する。 (2) 具体物を分類、比較し、比例などの関係を見つけ、観察や実験の結果から結論をまとめることができる。 (3) 発表やレポートなどでは、自分の考えや、気づいたことを、根拠を明確にして、表現できる (4) 実験器具の取り扱い、及び、観察・実験の記録(文章、表、グラフ、スケッチ)を正確に取れるようになる。 (5) 教科書の太字の事項はしっかり身につける。
使用教科書 副教材等	大日本図書「理科の世界 Ⅰ」 理科の学習Ⅰ(明治図書)、最新 理科便覧 千葉県版

2. 学習計画及び評価方法等

	月	学習内容	学習のねらい	備考	評価
第 Ⅰ 学 期	4	単元Ⅰ 生物の世界 1章 身近な生物の観察	・いろいろな生物を比較して見いだした共通点や相違点をもとにして分類できることを理解するとともに、分類の仕方の基礎を身に付ける。 ・身近な外部形態の植物の観察を行い、その観察記録などに基づいて、共通点や相違点があることを見いだし、花のつくりを中心に扱い、種子植物が被子植物と裸子植物に分類できることや、胚珠が種子になることを理解する。また、被子植物が単子葉類と双子葉類に分類できることや、種子をつくらぬ植物が胞子をつくることを理解する。植物の共通点や相違点に基づいて植物が分類できることを見い出して理解する。 ・身近な動物の外部形態の観察を行い、その観察記録などに基づいて、共通点や相違点があることを見いだし、動物の体の基本的なつくりを理解する。動物の共通点や相違点に基づいて動物が分類できることを見い出して理解する。	実験 考察	定期テスト
	5	2章 植物のなかま			
	6	3章 動物のなかま			
	7	単元Ⅱ 物質のすがた 1章 いろいろな物質	実験 考察		
			・身のまわりの物質の性質を様々な方法で調べる実験を行い、物質には密度や加熱したときの变化など固有の性質と共通の性質があることを見い出して理解するとともに、実験器具の操作、記録の仕方などの技能を身に付ける。 ・気体を発生させてその性質を調べる実験を行い、気体の		

		2章 気体の発生と性質	種類による特性を理解するとともに、気体を発生させる方法や捕集法などの技能を身に付ける。		
第 2 学 期	9	3章 物質の状態変化	・物質の状態変化についての観察、実験を行い、状態変化によって物質の体積は変化するが質量は変化しないことを見いだして理解する。物質は融点や沸点を境に状態が変化することを知るとともに、混合物を加熱する実験を行い、沸点の違いによって物質の分離ができることを見いだして理解する。	実験 考察	定期テスト
	10	4章 水溶液	・水溶液から溶質を取り出す実験を行い、その結果を溶解度と関連付けて理解する。	実験 考察	
	11	単元3 身近な物理現象 1章 光の性質	・光の反射や屈折の実験を行い、光が水やガラスなどの物質の境界面で反射、屈折するときの規則性を見いだして理解する。その際に、光の屈折では全反射が起こることを見いだして理解し、入射角と屈折角の定性的な関係を知る。また、白色光はプリズムなどによっていろいろな色の光に分かれることについて知る。凸レンズの働きについての実験を行い、物体の位置と実像や虚像のでき方との関係を見いだして理解する。		
		2章 音の性質	・音についての実験を行い、音はものが振動することによって生じ空気中などを伝わること及び音の高さや大きさは発音体の振動の仕方に関係することを見いだして理解する。音の伝わる速さについて、空気中を伝わるおよその速さを知る。		
	12	3章 力のはたらき	・物体に力を働かせる実験を行い、物体に力が働くとその物体が変形したり動き始めたり、運動の様子が変わったりすることを見いだして理解するとともに、力は大きさと向きによって表されることを知る。また、ばねに加える力の大きさとばねの伸びとの関係について規則性を見いだして理解する。力の単位として「ニュートン」を用いること及び重さと質量との違いについて知る。物体に働く2力についての実験を行い、力が釣り合うときの条件を見いだして理解する。		
第 3 学 期	1	単元4 大地の変化 1章 火山	・火山の形、活動の様子及びその噴出物を調べ、それらを地下のマグマの性質と関連付けて理解する。火山岩と深	実験 考察	

		2章 地震	成岩の観察を行い、それらの組織の違いを成因と関連付けて理解する。		
2		3章 地層	・地震の体験や記録をもとに、その揺れの大きさや伝わり方の規則性に気付く。地震の原因を地球内部の働きと関連付けて理解し、地震に伴う土地の変化の様子を理解する。 ・身近な地層の観察を通して、土地の成り立ちや広がり、構成物などについて理解するとともに、観察器具の操作、記録の仕方などの技能を身に付ける。地層の様子やその構成物などから地層のでき方を考察し、重なり方や広がり方についての規則性を見いだして理解するとともに、地層とその中の化石を手掛かりとして過去の環境と地質年代を推定できることを理解する。		定期テスト
3		4章 大地の変動	・火山や地震の原因を地球内部の働きと関連付けて理解し、大地の変動の様子を理解する。自然がもたらす恵み及び火山災害と地震災害について調べ、これらを火山活動や地震発生の仕組みと関連付けて理解する。		

3. 評価について

(1) 評価の観点及び内容・評価材料

	評価の観点及び内容	評価材料
知識・技能	観察実験技能を習得している。 自然現象についての概念や性質を理解している。	定期テストの「知識・技能」の問題 レポート 実験、観察の取り組み
思考・判断・表現	実験観察結果から結論を考察できる。 自然事象を論理的に説明することができる。	定期テストの「思考」の問題 レポート 実験、観察の取り組み
主体的に学習に取り組む態度	実験観察に見通しをもち、振り返りができる。 自分で課題を設定し、進んで取り組んでいる。	レポート 実験、観察の取り組み ワーク

☆印の項目は、授業を欠席した場合評価に含めることができない場合があります。

(2) 観点別評価からの評定の算出の仕方

A=3点、B=2点、C=1点として3つの観点別評価を合計し、下の表に照らして評定を算出します。

評定	観点別評価の合計
5	9点
4	8点
3	5～7点
2	4点
1	3点

2 学 期	10	単元3 電流とその利用 1章 電流と回路	果と関連付けて理解する。 ・消化や呼吸についての観察、実験などを行い動物の体が必要な物質を取り入れて運搬している仕組みや不要となった物質を排出する仕組みがあることについて理解する。	考察	期末試験
	11	2章 電流と磁界	・直列、並列回路の電流や電圧を測定する実験を行い、回路の各点を流れる電流や各部に加わる電圧についての規則性を見いだして理解する。		
	12	3章 電流の正体	・磁石やコイルを用いた実験を行い、磁界中のコイルに電流を流すと力が働くことを見いだして理解する。		
	1	単元4 気象のしくみと天気の変化 1章 気象観測 2章 気圧と風	・静電気と電流には関係があることを見いだして理解する。 ・気象要素として、気温、湿度、風向きなどを理解する。 ・気象要素の中から気圧を取り上げ、大気圧の実験を行い、その結果を空気の重さと関連付けて理解する。		
第 3 学 期	2	3章 天気の変化	・霧や雲の発生についての観察、実験を行い、そのでき方を気圧、気温及び湿度の変化と飽和水蒸気量と関連付けて理解する。	実験 考察	学年末試験
	3	4章 日本の気象	・天気図や気象衛星画像などから、日本の天気の特徴を気団と関連付けて理解する		

3. 評価について

(1) 評価の観点及び内容・評価材料

	評価の観点及び内容	評価材料
知識・技能	観察実験技能を習得している。 自然現象についての概念や性質を理解している。	定期テストの「知識・技能」の問題 章末テスト
思考・判断・表現	実験観察結果から結論を考察できる。 自然事象を論理的に説明することができる。	定期テストの「思考」の問題 実験レポート
主体的に学習に取り組む態度	実験観察に見通しをもったり、振り返りができる。 自分で課題を設定し、進んで取り組んでいる。	実験レポート

☆印の項目は、授業を欠席した場合評価に含めることができない場合があります。

(2) 観点別評価からの評定の算出の仕方

A=3点、B=2点、C=1点として3つの観点別評価を合計し、下の表に照らして評定を算出します。

評定	観点別評価の合計
5	9点
4	8点
3	5～7点
2	4点
1	3点

学 習 の 指 針 (シラバス)

教科名	理科 (A)	実施学年	3 年	週時間	4 時間のうち2時間
-----	--------	------	-----	-----	------------

I 学習の目標等

学習の目標	<p>(1)グループの話し合いにより学習を深められる。</p> <p>(2)継続的な観察ができる。</p> <p>(3)観察や実験から3つ以上の要素が関わる関係を見つけ、法則、モデル、概念を使って考えを進められる。</p> <p>(4)発表やレポートなどで、自分の考えや気づいたことを、根拠、具体例、図、グラフを使い、論理の展開を工夫して、効果的に表現できる。</p> <p>(5)実験器具を正しく使い、実験観察の記録(文章、スケッチ、表、グラフ)を正確にとれる。</p> <p>(6)教科書の太字部分をしっかり身につける。</p>
使用教科書・副教材等	大日本図書 理科の世界3(教科書)、理科の学習3(明治図書)、グラフィック理科資料集

2 (1)学習計画及び評価方法等

	月	学習内容	学習のねらい	備 考	評 価
第 1 学 期	4	単元1 運動とエネルギー	<ul style="list-style-type: none"> ・力の表し方を知ります。 ・力のつり合い・合成・分解での力の関係を実験と作図から発見します。 ・記録タイマーを使っていくつかの運動について調べます。 ・速さ、質量とエネルギーのように3つの要素が関わる現象を調べます。 ・太陽の観測(夏至) 	作図・考察 作図・考察 継続観察 作図・考察	「章」ごとに章末テストを行います。 期末試験
	5	1章 力の合成と分解			
	6	2章 水中の物体に加わる力			
	7	3章 物体の運動			
第 2 学 期	9	4章 仕事とエネルギー	<ul style="list-style-type: none"> ・エネルギーの概念を身に付けエネルギーの概念でジェットコースターなどの現象を考えます。 ・太陽の観測(秋分) 	観察 継続観察	期末試験
	10	単元5 地球と宇宙	<ul style="list-style-type: none"> ・継続観察の結果を使い、学習を進めます。太陽の観測(冬至) ・地球の自転や公転と太陽の動きや季節の変化とを関連づけて考えます。 ・地球の自転や公転と星の動きを関連づけて考えます。北の星、南の星の観察 ・太陽、月の性質を知り月の見え方を考えます。 ・太陽系や宇宙のつくりを知り、金星の見え方を考えます。 ・太陽や月の見え方で、方角や日にちを知る方法を考えます。 	実験・考察 観察 継続観察 継続観察	
	11	1章 天体の動き			
	12	2章 月と惑星の運動			
	1	3章 宇宙の中の地球			
2					

1	単元6 地球の明るい未来のために-自然と人間と科学技術-	・現在の自然環境を知り、人間と自然との共存について考えます。	学年末試験
2	1章 自然環境と人間 2章 科学技術と人間 終章 これからの私たちの暮らし	・科学技術の発達と自然環境の調和について、自分の考えをまとめます。 ・エネルギー資源の現状を知り、人間と地球のかかわりを考えます。	
3	終章 これからの暮らしを考えよう	・環境問題解決を目指した今後の生活を考えます。	

3. 評価について

(1) 評価の観点及び内容・評価材料

	評価の観点及び内容	評価材料
知識・技能	観察実験技能を習得している。 自然現象についての概念や性質を理解している。	定期テストの「知識・技能」の問題 章末テスト
思考・判断・表現	実験観察結果から結論を考察できる。 自然事象を論理的に説明することができる。	定期テストの「思考」の問題 実験レポート
主体的に学習に取り組む態度	実験観察に見通しをもち、振り返りができる。 自分で課題を設定し、進んで取り組んでいる。	実験レポート 振り返りシート

☆印の項目は、授業を欠席した場合評価に含めることができない場合があります。

(2) 観点別評価からの評定の算出の仕方

A=3点、B=2点、C=1点として3つの観点別評価を合計し、下の表に照らして評定を算出します。

評定	観点別評価の合計
5	9点
4	8点
3	5～7点
2	4点
1	3点

学 習 の 指 針 (シラバス)

教科名	理科 (B)	実施学年	3 年	週時間	4 時間のうち2時間
-----	--------	------	-----	-----	------------

1 学習の目標等

学習の目標	<p>(1)グループの話し合いにより学習を深められる。</p> <p>(2)継続的な観察ができる。</p> <p>(3)観察や実験から3つ以上の要素が関わる関係を見つけ、法則、モデル、概念を使って考えを進められる。</p> <p>(4)発表やレポートなどで、自分の考えや気づいたことを、根拠、具体例、図、グラフを使い、論理の展開を工夫して、効果的に表現できる。</p> <p>(5)実験器具を正しく使い、実験観察の記録(文章、スケッチ、表、グラフ)を正確にとれる。</p> <p>(6)教科書の太字部分をしっかり身につける。</p>
使用教科書・副教材等	大日本図書 理科の世界3(教科書)、理科の学習3(明治図書)、グラフィック理科資料集

2 (1)学習計画及び評価方法等

	月	学習内容	学習のねらい	備 考	評 価
第 1 学 期	4	単元2 生命のつながり	<ul style="list-style-type: none"> ・細胞の観察をし、観察力をつけます。 ・生物が成長することと細胞との関係について観察を通し学びます。 ・生物のふえ方を細胞で考えます。 ・遺伝の規則性を学びます。 	観察	「章」ごとに章末テストを行います。
	5	1章 生物の成長とふえ方			
	6	2章 遺伝の規則性と遺伝子 3章 生物の種類の多様性と進化			
	7	終章 遺伝子技術について調べよう			
					期末試験
第 2 学 期	9	単元3 自然界のつり合い	<ul style="list-style-type: none"> ・生物どうしのつながりを考え、生物界全体をひとまとまりとして見る視点を身につけます。 	観察 実験・考察	期末試験
	10	1章 生物同士のつながり 2章 自然界を循環する物質			
	11	単元4 化学変化とイオン 1章 水溶液とイオン	<ul style="list-style-type: none"> ・色々な水溶液で、電流が流れるかを確認します。 ・原子とイオンの構造を学びます。 ・イオンのモデルを使ってイオンに関する現象を考察します。 	考察	
	12	2章 化学変化と電池	<ul style="list-style-type: none"> ・化学電池の仕組みについて学びます。 		
	1 2 3	3章 酸・アルカリとイオン	<ul style="list-style-type: none"> ・酸性、アルカリ性の現象をイオンのモデルを使って考えます。 ・中和の現象をイオンのモデルを使って考えます。 	実験・考察 実験・考察	
					学年末試験

3. 評価について

(1) 評価の観点及び内容・評価材料

	評価の観点及び内容	評価材料
知識・技能	観察実験技能を習得している。 自然現象についての概念や性質を理解している。	定期テストの「知識・技能」の問題 章末テスト
思考・判断・表現	実験観察結果から結論を考察できる。 自然事象を論理的に説明することができる。	定期テストの「思考」の問題 実験レポート
主体的に学習に取り組む態度	実験観察に見通しをもち、振り返りができる。 自分で課題を設定し、進んで取り組んでいる。	実験レポート 振り返りシート ノート ワーク

☆印の項目は、授業を欠席した場合評価に含めることができない場合があります。

(2) 観点別評価からの評定の算出の仕方

A=3点、B=2点、C=1点として3つの観点別評価を合計し、下の表に照らして評定を算出します。

評定	観点別評価の合計
5	9点
4	8点
3	5～7点
2	4点
1	3点

学習の指針（シラバス）

教科名	社会科	実施学年	1年	週時間	3時間
-----	-----	------	----	-----	-----

1. 学習の目標

学習の目標	<p>【地理的分野】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○日本の諸地域の地誌的学習を行う。 ○地図の読図や作図を通した思考力や表現力を養う。 ○地図を活用した事象の説明、自分の解釈を加えた論述、意見交換などの学習を進める。 ○世界的視野から見た日本、および日本全体から見た日本の地域的特色を理解する。 <p>【歴史的分野】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○我が国の歴史の大きな流れを理解し、各時代の特徴を理解する。 ○その時代を大観して表現する活動や各時代の変革の特徴から時代の転換をとらえ、歴史的事象について考察、判断しその成果を自分の言葉で表現する力を養う。 ○様々な資料を活用してその時代の生活の様子や政治・文化の特徴について読み取る力を養う。
使用教科書 副教材等	<p>教科書；東京書籍「新しい社会 地理」・「新しい社会 歴史」</p> <p>地図帳；帝国書院「中学生社会科地図」</p> <p>副教材；浜島書店「アクティブ地理総合」・「学び考える歴史」</p> <p>ワークブック明治図書「よくわかる社会の学習」（歴史1）（地理1）</p> <p>ノート：2冊</p>

2. 学習計画及び評価方法等

	月	学習内容	学習のねらい	評価
1 学期	4	【地理分野】15 時間 (1)世界の姿	<ul style="list-style-type: none"> ・地球上の位置関係をとらえる技能や 知識を身につけ、世界の地域構成をとらえる。 ・世界各地の人々の生活や環境の多様性を理解する。 	<p>【地理】</p> <p>(1)</p> <p>ワーク点検 単元テスト</p> <p>【地理】</p> <p>(2)</p> <p>【歴史】</p> <p>(1) (2) ①②</p> <p>定期テスト ノート点検</p> <p>【歴史】</p> <p>(2) ②</p>
	5	(2)世界各地の人々の生活と環境		
	6	【歴史分野】22 時間 (1)歴史のとらえ方	<ul style="list-style-type: none"> ・年代の表し方や時代区分についての基本的な内容を理解する。 ・人類の発展から、日本に国家が形成されていった過程のあらましと、天皇、貴族の政治が展開されたことを聖徳太子の政治と大化の改新、律令国家の確立、摂関政治を通じて理解する。 	<p>【歴史】</p> <p>(1) (2) ①②</p> <p>定期テスト ノート点検</p> <p>【歴史】</p> <p>(2) ②</p>
	7	(2)古代までの日本 ①文明のおこりと日本の成り立ち ②古代国家の歩みと東アジア世界		
2 学期	9	【地理分野】34 時間 (3)世界の諸地域	<ul style="list-style-type: none"> ・世界の諸地域について、それぞれの州の地域的特色を理解する。 ・経済成長をテーマとして地域ごとの特色を理解する。 ・国家間の統合による変化や課題について理解する。 ・特定の生産品に頼る生活や変化について理解する。 ・産業の発達について様々な面から考え、理解する。 ・開発と環境問題について様々な面から考え、理解する。 ・アジア州との結びつきをテーマに地域的特色を理解する。 	<p>【地理】</p> <p>(3)①、②</p> <p>単元テスト</p> <p>【地理】</p> <p>(3) ③、④、⑤、⑥</p> <p>定期テスト ワーク点検 ノート点検</p>
	10	①アジア州 ②ヨーロッパ州 ③アフリカ州		
	11	④北アメリカ州 ⑤南アメリカ州		
	12	⑥オセアニア州		

		(4)世界の様々な地域の調査 【歴史分野】18時間 (3)中世の日本 ①武士の台頭と鎌倉幕府	・これまでに世界の地理学習をもとにプレゼンテーションできる。 ・武士の支配の広がりやその支配の仕組みについて調べ、武家社会の発展について理解する。	【歴史】 ノート点検 (3)①、② ノート点検
3学期	1 2 3	(2)中世の日本 ②東アジア世界とのかかわりと社会の変動	・モンゴルの襲来、日明貿易、琉球の国際的役割など、この時代に東アジアと密接な関わりが見られたことや、それが国内の政治に影響をおよぼしたことを理解する。	学年末テスト ワーク点検 【歴史】

3. 評価について

(1) 評価の観点及び内容・評価材料

☆印の項目は、授業を欠席した場合評価に含めることができない場合があります。

	評価の観点及び内容	評価材料
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・社会的事象の意義や特色などを理解し、知識を身につける。 ・基本的なことがらについて正しく認識をしているかを授業態度やノート、小テスト、定期テストから評価する。 ・情報を適切に選択・活用し、追求・考察した過程・結果を表現できる。適切な資料を探したり、適切に資料を読み取ったりしているかを発言や資料に基づく調べ学習・レポート等の取り組み状況で評価する。定期テストの資料活用を問う問題での解答内容も加味する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト ・小テスト
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・課題を見だし、多面的・多角的に考察し、公正に判断する。資料をもとに考えて社会的事象を正しくとらえているかを発言、レポート、作業プリントの記述内容、調べ学習で記述内容、発表内容で評価する。また、定期テストの思考・判断の力を問う問題での解答内容も加味する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト ・レポート ・授業での発表内容
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・情報を適切に選択・活用し、追及・考察した家庭・結果を表現できる。適切な資料を探したり、適切に資料を読み取ったりしているかを発言や資料に基づく調べ学習・レポート等の取り組み状況で評価する。定期テストの資料活用を問う問題での解答内容も加味する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・レポート ・ノート

(2) 観点別評価からの評定の算出の仕方

A=3点、B=2点、C=1点として4つの

観点別評価を合計し、下の表に照らして評定を算出します。

評定	観点別評価の合計
5	9点
4	8点
3	5～7点
2	4点
1	3点

学習の指針(シラバス)

教科名	社会	実施学年	2年	週時数	3時間
-----	----	------	----	-----	-----

1 学習の目標等

学習の目標	<p>[地理的分野]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○日本の諸地域の地誌的学習を行う。 ○地図の読図や作図を通じた技能の習得、思考力や表現力を養う。 ○世界的視野から見た日本、および日本全体から見た日本の地域的特色を理解する。 <p>[歴史的分野]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○我が国の歴史の大きな流れを理解し、各時代の特色を理解する。 ○その時代を大観して表現する活動や各時代の変革の特色から時代の転換をとらえ、歴史的現象について考察、判断しその成果を自分の言葉で表現する力を養う。
使用教科書・副教材等	<p>教科書；東京書籍「新しい社会 地理」・「新しい社会 歴史」</p> <p>地図帳；帝国書院「中学生社会科地図」</p> <p>副教材；ワークブック明治図書「よくわかる社会の学習 地理2」 「よくわかる社会の学習歴史2・3」</p> <p>ノート：2冊</p>

2 学習計画及び評価方法等

	月	学習内容	学習のねらい	評価
第1学期	4	<p>【地理分野】10時間</p> <p>(1)日本のすがた</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の国土の位置や領域、日本の地域構成を理解する。 	<p>【期末テスト】</p> <p>ノート</p> <p>単元まとめ</p>
	5	<p>(2)世界から見た日本のすがた</p> <ul style="list-style-type: none"> ①日本の自然環境 ②日本の人口 ③日本の資源・エネルギーと産業 ④世界と日本の結びつき 	<ul style="list-style-type: none"> ・世界的視野から日本の地形や気候の特色、日本の人口密度、少子高齢化の課題、日本の資源エネルギー問題の現状、交通通信網の発達の様子や物流について理解する。 	
	6	<p>【地理分野】40時間</p> <p>(3)日本の諸地域</p> <ul style="list-style-type: none"> ①九州地方 ②中国・四国地方 	<ul style="list-style-type: none"> ・各地方の自然、産業、生活、文化、歴史的背景などについて概観し、基礎的、基本的な知識を身につける。 	
	7	<ul style="list-style-type: none"> ③近畿地方 ④中部地方 	<ul style="list-style-type: none"> ・各地域の課題を学習し、課題解決の方法を考える。 	
第2学期	9	<p>【地理分野】40時間</p> <p>(3)日本の諸地域</p> <ul style="list-style-type: none"> ⑤関東地方 ⑥東北地方 ⑦北海道地方 	<ul style="list-style-type: none"> ・各地方の自然、産業、生活、文化、歴史的背景などについて概観し、基礎的、基本的な知識を身につける。 	<p>人権作文など(予定)</p>
	10		<ul style="list-style-type: none"> ・各地域の課題を学習し、課題解決の方法を考える。 ・身近な地域の調査を通して、地図に関する知識と調 	

	1 1	(4)身近な地域の調査 【歴史分野】23時間 (4)近世の日本 ①ヨーロッパ人との出会いと全国統一 ②江戸幕府の成立と鎖国 ③産業の発達と幕府政治の動き	査および発表の方法を身につける。 ・ヨーロッパ人の来航が日本に与えた影響を考えると、さまざまな面から全国統一事業の背景と成り立ちについて考える。 ・江戸幕府のしくみと政策の変化を読み取り、産業や人々の生活の様子と関連付ける。 ・欧米諸国が近代社会を成立させてアジアへ進出したことを理解する。	【期末テスト】 ノート 単元まとめ
第3学期	1 2 3	【歴史分野】20時間 (5)開国と近代日本の歩み ②明治維新 ③日清・日露戦争と近代産業	・新政府による改革の特色を考え人々の生活が大きく変化したことを理解する。 ・日清・日露戦争を通して国際的地位の向上がはかられたことを理解する。	【学年末テスト】 ノート 単元まとめ

3 評価について

(1) 評価の観点及び内容

	評価の観点及び内容	評価教材
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・社会的事象の意義や特色などを理解し、知識を身につける。 ・基本的なことがらについて正しく認識をしているかを授業態度やノート、小テスト、定期テストから評価する。 ・情報を適切に選択・活用し、追求・考察した過程・結果を表現できる。適切な資料を探したり、適切に資料を読み取ったりしているかを発言や資料に基づく調べ学習・レポート等の取り組み状況で評価する。定期テストの資料活用を問う問題での解答内容も加味する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト ・小テスト
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・課題を見だし、多面的・多角的に考察し、公正に判断できる。社会的事象について正しくとらえているかを、発言、思考ツールを活用した単元のまとめの記述内容、調べ学習で記述内容、発表内容で評価する。また、定期テストの思考・判断の力を問う問題での解答内容も加味する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト ・まとめ等の考察内容 ・授業内の発表
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・情報を適切に選択・活用し、追求・考察した過程・結果を表現できる。適切な資料を探したり、適切に資料を読み取ったりしているかを発言や資料に基づく調べ学習・レポート等の取り組み状況で評価する。定期テストの資料活用を問う問題での解答内容も加味する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・提出物 ・時事問題 ・授業態度

(2) 観点別評価からの評定の算出の仕方

A=3点、B=2点、C=1点として4つの観点別評価を合計し、下の表に照らして評定を算出します。

評定	観点別評価の合計
5	9点
4	8点
3	5～7点
2	4点
1	3点

学 習 の 指 針 (シラバス)

教科名	社会	実施学年	3年	週時数	4時間
-----	----	------	----	-----	-----

1 学習の目標等

学習の目標	<p>【歴史的分野】</p> <p>(1) 我が国の近現代における歴史の大まかな流れと世界との関わりを理解し、近現代の特色を捉える。</p> <p>(2) その時代を大観し、表現する活動や、各時代の特色から時代の移り変わりを捉える。</p> <p>(3) 歴史的事象に関して考察し、自分の言葉で表現する力を養う。</p> <p>【公民的分野】</p> <p>(1) より良い社会を構築していくために、身近な出来事に関心を持ち、自分の考えや意見を表現する力を養う。</p> <p>(2) 様々な資料を活用することにより、正しい判断力と適切な表現力を身につけ、公民的資質を養う。</p> <p>(3) 民主政治の意義とその仕組み、国民の生活向上と経済活動に関して、基礎的・基本的な知識を理解する。</p>
使用教科書 副教材等	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書：東京書籍「新しい社会 歴史」「新しい社会 公民」 ・副教材：正進社「歴史の資料」 ・ワークブック：明治図書「よくわかる社会の学習 歴史2・3」 ・ワークブック：明治図書「よくわかる社会の学習 公民」

2 学習計画及び評価方法等

	月	学習内容	学習のねらい	評価
I 学 期	4	<p>【歴史的分野】41時間</p> <p>(5)開国と近代日本の歩み</p> <p>②明治維新</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・新政府による改革の特色を考え人々の生活が大きく変化したことを理解する。 ・日清・日露戦争を通して国際的地位の向上がはかられたことを理解する。 ・日本の近代産業の発展を大陸との関係、国内外の反応を戦争や植民地化を通して理解する。 ・世界大戦前後の国際情勢を背景に、日本の国際的地位の変化や国内の政治、社会運動の高まりを理解する。 ・戦争を加害、被害の両面から考察する。 ・平和を希求する態度を養うことの大切さを知る。 ・国際社会のつながりが強化される流れと日本の国際社会での役割を考察する。 	<p>レポート 単元テスト ノート点検 ワーク点検</p>
	5	<p>③日清・日露戦争と近代産業</p> <p>○二度の世界大戦と日本</p> <p>・第一次世界大戦と日本</p> <p>・大正デモクラシーの時代</p>		
	6	<p>・世界恐慌と日本の中国侵略</p> <p>・第二次世界大戦と日本</p> <p>○現代の日本と私たち</p> <p>・戦後日本の出発</p> <p>・冷戦と日本の発展</p> <p>・新たな時代の日本と世界</p>		
	7	<p>【公民的分野】13時間</p> <p>○現代社会と私たち</p> <p>・現代社会の特色と私たち</p> <p>・私たちの生活と文化</p> <p>・現代社会の見方や考え方</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・現代社会の特色である、グローバル化、情報化、少子高齢化の背景を理解する。 ・日本の伝統と文化を学び、伝統的な文化を継承し、新たな文化を創造する態度を養う。 ・対立と合意、効率と公正などが現代社会を捉える見方・考え方の基礎となることを理解する。 	<p>レポート 単元テスト ノート点検 ワーク点検 定期テスト</p>

2 学 期	9 1 0 1 1 1 2	【公民的分野】56時間 ○個人の尊重と日本国憲法 ・人権と日本国憲法 ・人権と共生社会 ・これからの人権保障 ○現代の民主政治と社会 ・現代の民主政治 ・国の政治の仕組み ・地方自治と私たち ○私たちの暮らしと経済 ・消費生活と市場経済 ・生産と労働 ・市場経済の仕組みと金融	・個人の尊重や日本国憲法の基本原理を理解する。 ・人権の考え方や変化についてまとめる。 ・日本の民主政治の発達としくみについて理解し、現代社会における意義と課題を考察する。 ・日本における立法、行政、司法の関係性を理解する。 ・地方自治のしくみとその役割について私たちの生活に結びつけて考察する。 ・経済活動と私たちの生活のつながりについての認識を深める。 ・消費生活をもとに生活と経済の関連に気づく。	レポート 単元テスト ノート点検 ワーク点検 定期テスト
	3 学 期	1 2 3	【公民的分野】25時間 ・財政と国民の福祉 ・これからの経済と社会 ○地球社会と私たち ・国際社会の仕組み ・さまざまな国際問題 ・これからの地球社会と日本 ○よりよい社会をめざして ＊総合問題・入試対策 (5時間)	・財政、福祉、社会保障、環境保全など多岐にわたる政府による経済活動の実態について理解し、その成果と課題について考える。 ・国際社会における一員として自覚を高め、環境問題などの現状を理解し、今後の課題について地球市民として積極的に考える。 ・国際社会で平和維持のために、国際紛争の実態について理解を深め、解決の方向性について考える。

3 評価について

(1) 評価の観点及び内容

	評価の観点及び内容	評価材料
知識・技能	○社会的事象の意義や特色などを理解し、知識を身につける。 ○基本的なことからについて正しく認識をしているかを授業への取り組みやノート、単元テスト、定期テストから評価する。 ○情報を適切に選択・活用し、追求・考察した過程・結果を表現できる。 適切な資料を探したり、適切に資料を読み取ったりしているかを発言や資料に基づく調べ学習・レポート等の取り組み状況で評価する。定期テストの資料活用を問う問題での解答内容も加味する。	・レポート ・ノート ・授業への取り組み ・定期テスト ・単元テスト
思考・判断・表現	○課題を見だし、多面的・多角的に考察し、公正に判断する。 資料をもとに考えて社会的事象を正しくとらえているかを発言、レポート、作業プリントの記述内容、調べ学習で記述内容、発表内容で評価する。また、定期テストの思考・判断の力を問う問題での解答内容も加味する。	・レポート ・授業への取り組み ・定期テスト ・単元テスト
主体的に学習に取り組む態度	○情報を適切に選択・活用し、追求・考察した過程・結果を表現できる。 単元を通して学んだ内容や、課題として取り上げられたテーマについて、レポートや振り返りシートを活用して自主的に取り組み、学習内容が定着しているかをテストの結果も踏まえて評価する。また、授業への取り組む姿勢やノート、ワークなどの提出物も加味する。	・レポート ・ノート ・ワーク ・授業への取り組み ・定期テスト ・単元テスト

学習の指針(シラバス)

教科名	保健体育	実施学年	1、2年	週時数3時間
-----	------	------	------	--------

Ⅰ 学習の目標等

<p>学習の目標 [体育分野]</p>	<p>(1) 運動の合理的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを味わい、運動を豊かに実践することができるようにするため、運動、体力の必要性について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。 (2) 運動についての自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。 (3) 運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の役割を果たす、健康・安全に留意し、自己の最善を尽くして運動をする態度を養う。</p>
<p>[保健分野]</p>	<p>(1) 個人生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。 (2) 健康についての自他の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。 (3) 生涯を通じて心身の健康の保持増進を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養う。 [健康と環境] ◎健康と環境について、課題を発見し、その解決を目指した活動を通して、次の事項を身に付けることができるようにする。 ア 健康と環境について理解を深めること。 (ア) 健康は、主体と環境の相互作用の下に成り立っていること。また、疾病は、主体の要因と環境の要因が関わり合って発生すること。 (イ) 健康の保持増進には、年齢、生活環境等に応じた運動、食事、休養及び睡眠の調和のとれた生活を続ける必要があること。 (ウ) 生活習慣病などは、運動不足、食事の量や質の偏り、休養や睡眠の不足などの生活習慣の乱れが主な要因となって起こること。また、生活習慣病などの多くは、適切な運動、食事、休養及び睡眠の調和のとれた生活を実践することによって予防できること。 (エ) 喫煙、飲酒、薬物乱用などの行為は、心身に様々な影響を与え、健康を損なう原因となること。また、これらの行為には、個人の心理状態や人間関係、社会環境が影響することから、それぞれの要因に適切に対処する必要があること。 イ 健康な生活と疾病の予防について、課題を発見し、その解決に向けて思考し判断すること。 [心身機能の発達と心の健康] ◎心身機能の発達と心の健康について、課題を発見し、その解決を目指した活動を通して、次の事項を身に付けることができるようにする。 ア 心身の機能の発達と心の健康について理解を深めるとともに、ストレスへの対処をすること。 (ア) 身体には、多くの器官が発育し、それに伴い、様々な機能が発達する時期があること。また、発育・発達の時期やその程度には、個人差があること。 (イ) 思春期には、内分泌の働きによって生殖に関わる機能が成熟すること。また、成熟に伴う変化に対応した適切な行動が必要となること。 (ウ) 知的機能、情意機能、社会性などの精神機能は、生活経験などの影響を受けて発達すること。また、思春期においては、自己の認識が深まり、自己形成がなされること。 (エ) 精神と身体は、相互に影響を与え、関わっていること。欲求やストレスは、心身に影響を与えることがあること。また、心の健康を保つには、余裕やストレスに適切に対処する必要があること。 イ 心身の機能の発達と心の健康について、課題を発見し、その解決に向けて思考し判断するとともに、それらを表現すること。 [傷害の防止] ◎傷害の防止について、課題を発見し、その解決を目指した活動を通して、次の事項を身に付けることができるようにする。 ア 傷害の防止について理解を深めるとともに、応急手当をすること。 (ア) 交通事故や自然災害などによる傷害は、人的要因や環境要因などが関わって発生すること。 (イ) 交通事故などによる傷害の多くは、安全な行動、環境の改善によって防止できること。 (ウ) 自然災害による傷害は、災害発生時だけでなく、二次災害によっても生じること。また、自然災害による傷害の多くは、災害に備えておくこと、安全に避難することによって防止できること。 (エ) 応急手当を適切に行うことによって、傷害の悪化を防止することができること。また、心肺蘇生法などを行うこと。 イ 傷害の防止について、危険の予測やその回避の方法を考え、それらを表現すること。</p>
<p>使用教科書・副教材</p>	<p>中学校 保健体育、中学校体育実技</p>

2 (1) 学習内容の評価方法等

学習内容	学習のねらい	備考	評価
<p>体づくり運動</p> <p>陸上競技</p>	<p>・自己の体に関心をもち、自己の体力や生活に応じた課題をもって体ほぐしをしたり、体力を高めることができる。</p> <p>・目的に応じた運動を合理的に行い、体力を高めることができる。</p> <p>・目的に応じた運動を合理的に行い、基礎基本を身に付け、運動技能を高めることができる。</p> <p>・自分の能力に適した目標記録や課題を設定し、課題解決のために自ら進んで活動できる。</p>	<p>一斉指導</p> <p>記録会 タイム測定</p>	<p>①観察 (思・判・表・学)</p> <p>②技能テスト (技)</p> <p>③学習カード (思・判・表・学)</p> <p>④単元テスト (知)</p> <p>⑤発表 (思・判・表)</p>
<p>マット運動</p> <p>水泳</p> <p>ダンス</p> <p>バレーボール</p> <p>卓球・バトミントン・テニス</p> <p>バスケットボール</p> <p>長距離走</p> <p>柔道</p> <p>サッカー</p> <p>ソフトボール</p>	<p>・自己の能力に適した課題をもって、マット運動を行い、その技能を高め、技がよりよくできるようにする。</p> <p>・基本的な技やできそうな技を練習し、技の組み合わせが円滑にできる。</p> <p>・水泳の事故防止の心得や練習する上でのルールを守るなど、健康・安全に留意することができる。</p> <p>・自己の能力に適した課題をもって、長く泳いだり、早く泳いだりすることができるようにする。</p> <p>・基礎基本の泳法を身に付ける。</p> <p>・集団や個人で表現したり、交流したりすることを楽しむという特性を理解し、学習の進め方を知ることができる。</p> <p>・互いの動きや感じ方、表現のよさなどを認め合い、活動を楽しむことができる。</p> <p>・基本的なパスを身に付け、ルールを工夫してボールを相手コートに返すことができる。</p> <p>・サーブでは、ボールやラケットの中心付近で捉えることができる。</p> <p>・ボールを返す方向にラケット面を向けて打つことができる。</p> <p>・相手側のコートの開いた場所にボールを返すことができる。</p> <p>・ボールを打ったり受けたりした後、ボールや相手に正対することができる。</p> <p>・基礎基本の技能を身に付け、速い動きの攻め方や相手を決めて、守り方を工夫して行うことができる。</p> <p>・ルールや作戦に応じて、勝敗を競い合う楽しさや喜びを味わうことができる。</p> <p>・仲間と協力して、練習や課題解決の方法を工夫することができる。</p> <p>・長い距離を走り、記録の向上に関心をもち、仲間と協力して練習し、記録会を行うことができる。</p> <p>・武道特有の礼法を身に付ける。</p> <p>・基本動作や固め技など、対人技能を身に付けることができる。</p> <p>・チーム内で役割分担をし、組織的な攻め方や守り方ができる。</p> <p>・互いに協力し励まし合いながら、進んで練習や試合を行うことができる。</p> <p>・基本的なバット操作と走塁での攻撃、ボール操作と定位置での守備などによって攻防を展開することができる。</p>	<p>演技発表</p> <p>一斉指導</p> <p>演技発表</p> <p>グループでの課題解決</p> <p>グループでの課題解決</p> <p>グループでの課題解決</p> <p>グループでの課題解決 記録会</p> <p>一斉指導</p> <p>グループでの課題解決 リーグ戦</p> <p>グループでの課題解決</p>	
評価方法	単元テスト(定期テスト) 観察 学習カード 技能テスト レポート ワークシート 発表		

(2) 評価の観点及び内容

	評価の観点及び内容
知識・技能	<p><知識></p> <p>①各運動の技術の名称や行い方について言ったり書き出したりしている。(単元テスト、ワークシート)</p> <p>②各運動に関連した技術の習得のポイントについて具体的な例を挙げている。(学習カード、発表)</p> <p><技能></p> <p>①基本的な技能を身につけ、記録の向上や技の習得することができる。(技能テスト)</p> <p>②科学的知識を基に、運動技能を身につけることができる。(観察)</p>
思考・判断・表現	<p>①自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。(話し合い・発表)</p> <p>②基本的な知識や技能を活用して、自己の課題に応じた解決方法を身につけている。(学習カード・観察・レポート)</p> <p>③各運動の特性に応じて改善すべきポイントを発見し、課題に応じて練習方法を選んでいる。(単元テスト・観察・レポート)</p>
主体的に学習に取り組む態度	<p>①練習や試合、発表などに意欲をもって取り組むことができる。(観察)</p> <p>②勝敗を冷静受け止め、ルールやマナーを大切にしようとしたり、フェアなプレイを大切にしている。(観察)</p> <p>③安全な用具の扱いや、安全を確認して活動を行うことができる。(観察)</p>

(2) 観点別評価からの評定の算出の仕方

A=3点、B=2点、C=1点、評定不能=0点として5つの観点別評価を合計し、下の表に照らして評定を算出します。

評定	観点別評価の合計
5	9
4	8
3	5-7
2	4
1	3

学 習 の 指 針 (シラバス)

教科名	保健体育	実施学年	3年
			週時数3時間

Ⅰ 学習の目標等

学習の目標 [体育分野]	(1) 各種の運動の合理的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを味わい、生涯にわたって運動を豊かに実践することができるようにするため、運動、体力の必要性について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。 (2) 運動についての自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。 (3) 運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって運動に親しむ態度を養う。
[保健分野]	(1) 個人生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。 (2) 健康についての自他の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。 (3) 生涯を通じて心身の健康の保持増進を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養う。 【健康な生活と病気の予防】 ◎健康な生活と疾病の予防について、課題を発見し、その解決を目指した活動を通して、次の事項を身に付けることができるようにする。 ア 健康な生活と疾病の予防について理解を深めること。 (イ) 感染症は、病原体が主な要因となって発生すること。また、感染症の多くは、発生源をなくすこと、感染経路を遮断すること、主体の抵抗力を高めることによって予防できること。 (カ) 健康の保持増進や疾病の予防のためには、個人や社会の取組が重要であり、保健・医療機関を有効に利用することが必要であること。また、医療品は正しく使用すること。 イ 健康な生活と疾病の予防について、課題を発見し、その解決に向けて思考し判断するとともに、それらを表現すること。 傷害の防止について、危険の予測やその回避の方法を考え、それらを表現すること。 (4) 健康と環境について、課題を発見し、その解決を目指した活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 健康と環境について理解を深めること。 (イ) 身体には、環境に対してある程度まで適応能力があること。身体の適応能力を超えた環境は、健康に影響を及ぼすことがあること。また、快適で能率のよい生活を送るための温度、湿度や明るさには一定の範囲があること。 (イ) 飲料水や空気は、健康と密接な関わりがあること。また、飲料水や空気を衛生的に保つには、基準に適合するよう管理する必要があること。 (ウ) 人間の生活によって生じた廃棄物は、環境の保全に十分配慮し、環境を汚染しないように衛生的に処理する必要があること。 イ 健康と環境に関する情報から課題を発見し、その解決に向けて思考し判断するとともに、それらを表現すること。
使用教科書・副教材	中学校 保健体育、中学校体育実技、保健体育ノート(大日本図書)

2 (1) 学習内容の評価方法等

学習内容	学習のねらい	備考	評価
体づくり運動 陸上競技 ダンス	・自己の体に関心をもち、自己の体力や生活に応じた課題をもって体ほぐしをしたり、体力を高めることができる。 ・目的に応じた運動を合理的に行い、体力を高めることができる。 ・互いに協力し励まし合いながら、進んで練習や競技を行うことができる。 ・自分の能力に適した目標記録や課題を設定し、課題解決のために自ら進んで活動できる。 ・集団や個人で表現したり、交流したりすることを楽しむという特性を理解し、学習の進め方を知ることができる。 ・互いの動きや感じ方、表現のよさなどを認め合って、活動を楽しむことができる。	一斉指導 記録会 タイム測定 演技発表	①観察 (思・判・表・学) ②技能テスト (技) ③学習カード (思・判・表・学) ④単元テスト (知) ⑤発表 (思・判・表)

バレーボール	<ul style="list-style-type: none"> ・積極的なパス攻撃やサーブができ、ボールをつないで三段攻撃ができる。 	グループでの課題解決
卓球・バドミントン・テニス	<ul style="list-style-type: none"> ・サービスでは、ボールをねらった場所に打つこと。 ・ボールを相手側のコートの空いた場所やねらった場所に打ち返すこと。 ・攻撃につなげるための次のプレイをしやすい高さや位置にボールを上げること。 ・ラリーの中で、味方の動きに合わせてコート上の空いている場所をカバーすること。 	グループでの課題解決
バスケットボール	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎基本の技能を身に付け、速い動きの攻め方や相手を決めて、守り方を工夫して行うことができる。 ・ルールや作戦に応じて、勝敗を競い合う楽しさや喜びを味わうことができる。 ・仲間と協力して、練習や課題解決の方法を工夫することができる。 	グループでの課題解決
長距離走	<ul style="list-style-type: none"> ・長い距離を走り、記録の向上に関心をもち、仲間と協力して練習し、記録会を行うことができる。 	一斉指導
柔道	<ul style="list-style-type: none"> ・武道特有の礼法を身に付ける。 ・基本動作や固め技など、対人技能を身に付けることができる。 	一斉指導 グループでの課題解決
サッカー	<ul style="list-style-type: none"> ・チーム内で役割分担をし、組織的な攻め方や守り方ができる。 ・互いに協力し励まし合いながら、進んで練習や試合を行うことができる。 	グループでの課題解決 リーグ戦
ソフトボール	<ul style="list-style-type: none"> ・安定したバット操作と走塁での攻撃、ボール操作、連携した守備などによって攻防を展開することができる。 	グループでの課題解決
マット運動	<ul style="list-style-type: none"> ・回転系や巧技系の基本的な技をなめらかに安定して行う。 ・条件を変えた技や発展技を行う。 ・それらを構成し演技する。 	演技発表
水泳	<ul style="list-style-type: none"> ・水泳の学習に自主的に取り組み、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする。 ・一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするができる。 ・水の事故防止の心得を遵守するなど健康・安全を確保することができる。 	一斉指導 グループでの課題解決

評価方法	単元テスト(定期テスト) 観察 学習カード 技能テスト レポート ワークシート 発表
------	--

(2) 評価の観点及び内容

	評価の観点及び内容
知識・技能	<p><知識></p> <p>①各運動の技術の名称や行い方について理解している。(単元テスト、ワークシート)</p> <p>②各運動を通しての体力の高め方を科学的知識を元に理解している。(観察・レポート)</p> <p>③運動の観察を通して、自己分析、他者分析して理解している。(学習カード・観察)</p> <p><技能></p> <p>①基本的な技能を身につけ、記録の向上や技の習得することができる。(技能テスト)</p> <p>②正規のルールに則り、より発展的な試合や発表をできる。(観察)</p>
思考・判断・表現	<p>①自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えることができる。(学習カード・発表)</p> <p>②身につけた知識や技能を活用して、自己や仲間の課題に応じた解決方法を身につけることができる。(学習カード・観察)</p> <p>③運動を継続して楽しむための自己に適した関わり方を身につけている。(単元テスト・観察)</p>
主体的に学習に取り組む態度	<p>①練習や試合、発表などに意欲をもって取り組むことができる。(観察)</p> <p>②勝敗を冷静受け止め、ルールやマナーを大切にしようしたり、フェアなプレイを大切にしている。(観察)</p> <p>③安全な用具の扱いや、安全を確認して活動を行うことができる。(観察)</p>

(2) 観点別評価からの評定の算出の仕方

A=3点、B=2点、C=1点、評定不能=0点として5つの観点別評価を合計し、下の表に照らして評定を算出します。

評定	観点別評価の合計
5	9
4	8
3	5~7
2	4
1	3

学習の指針(シラバス)

流山市立南部中学校

教科	学年	週時数	使用教材	<教科書> 教育芸術社 中学生の音楽I
音楽	1年	1.3時間		<副教材> 合唱曲集(OUR SONG) 他合唱曲

【学習の目標】 以下の目標を達成するために学習します

A表現【歌唱】について

- ①パート練習の方法をしり、歌う喜びを分かち合い、音楽学習への関心・意欲を高める。
- ②曲想と音楽の構造や歌詞の内容と関わりについて理解すると共に、それらを生かした歌唱表現を工夫して歌う
【音楽を作っている要素(音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、構成)を知覚し、それらの働きが生み出す曲想や魅力を生かして表現を工夫する。
- ③曲想に応じた発声で歌い、表現を工夫する。

【創作】について

- ①表現したいイメージを持ち、音素材の特徴を感じ取り、反復、変化、対照などの構成を工夫しながら音楽を作ったり、演奏したりする。

B鑑賞

- ①楽曲の雰囲気や味わいを支えている音楽の諸要素(音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、構成)を知覚し、音楽の特徴や魅力を感じ取る。
- ②音楽の要素を知覚し、曲想と関わらせながら、雰囲気や特徴を捉え声による表現の多彩さや効果を感じとっている。
- ③音や音楽から感じ取ったことを言葉で説明することにより、考えを深めたり、自分の価値判断を広げる。

【評価の観点と方法】 通知票は以下の観点についてそれぞれ評価し、総合的に判断して評定が出されます

観 点	評 価 の 方 法
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・創意工夫を生かした音楽表現をするための発声、発音、身体の使い方などの技能を身につけて歌っているか、実技テストや日頃の授業の様子で評価していきます。曲想に合わせた表現の工夫を取り入れ、思いをもって表現しようとしているかがポイントです。 ・音楽の要素を手がかりに、楽曲の良さや魅力を自分の言葉で表現し、説明できるか、発表の様子や記述によって評価します。 ・音楽を形作っている要素(音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、構成)を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、解釈したり、価値を考えたりして、多様な音楽の良さを味わって聴いているか発表、発言やワークシートによって評価します。

	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽の特徴とその背景となる歴史との関わりについて理解しているか、ワークシートによって評価します。
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽を作っている要素(音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、構成)を知覚し、それらが生み出す特質や雰囲気を感じながら、音楽表現を工夫し、思いや意図を持って表現しているかを評価していきます。また、歌唱練習(パート練習)での様子や発表での内容、歌唱や表現などのテスト、リフレクションカードの内容も評価対象とします。 ・音色、旋律、テクスチャ、リズム、強弱を知覚し、曲の持つ雰囲気を感じながら知覚したことと感受したこととの関わりについて考えたり、表現したりしているか、実技テストや発言、ワークシートによって評価します。(鑑賞、表現ともに)
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・意欲的に発言したり、友達の意見に興味関心を持って聴こうとしたりしているかを観ていきます。(価値を広げる) ・自分の考えや気づきを友達に発信したり、友達との意見交流を積極的に行ったりしている様子を評価します。 ・合唱練習やグループ練習において、主体的・協働的に学習に取り組んでいるかを観ていきます。 ・音や音楽に関心を持ち、自己のイメージを広げて鑑賞し、音楽のよさや魅力について自分の言葉で表現しようとしているか、発表やその発言内容から評価します。ワークシート(鑑賞カード)によっても評価します。

観 点	評 価 の 観 点 及 び 内 容
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・曲想と音楽の構造などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。 ・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身につけ、歌唱、創作で表現している。
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて思いや意図を持ったり、音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりしている。
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・音や音楽、音楽文化に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的、協同的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

【教科担任より】 教科を担当する先生から、学習をすすめていくうえでのアドバイスです

義務教育の音楽としては集大成であることを意識し、授業を行っていきます。歌唱・創作などの表現活動や鑑賞活動をすすめていながら、音楽を形づくっている要素(音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、構成)を手がかりに音楽の魅力やよさについて感じていけるようにしていきたいと思います。積極的に集中して授業に参加し、楽しんでいきましょう。また、技能を高めるためには「よく聴く」ということと、音に敏感に取り組んでほしいです。歌唱などの技能テストはありますが、筆記テストはありません。週に1時間ほどの貴重な授業ですので、時間を大切に参加してください。また、忘れ物やワークシート・リフレクションカードの未提出があると、評価材料が減ってしまいますので、注意しましょう。意欲的に取り組み、一緒に音楽に親しんでいきたいと思っています。

月	学習内容	学習のねらい
4 ～ 3 通年	<p>常時活動 即興表現・創作</p> <p>※毎時間10分の扱いで年間10時間分とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音楽ゲーム ・リレー式アンサンブル ・ボディサウンド ・声やリズムによるアンサンブル ・リズムロンド <p>9月</p> <ul style="list-style-type: none"> ・祝いの手打ち <p>2～3月</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・声を出すことを恥ずかしがらず、ゲームに意欲的に参加しよう。 ・多様な音や表現方法を見つけよう。 ・音素材の音色を選択し、リズムと結びつけながら強弱の違いなど工夫したり、言葉、テンポ、他パートとの重なりを工夫しよう。 ・想いや意図を持って、反復、変化、対照を生かすなどして音楽表現を工夫しよう。 ・リズムによって、創作したものを正しく表現しよう。
4 ～7 月	<p>新しい友達と歌う楽しさを味わおう</p> <p>校歌</p> <p>楽しい発声</p> <p>常時活動で楽しもう</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・校歌の歌詞を暗譜し、大きな声で歌おう。 ・合わせて歌う学習に、主体的に取り組もう。 ・他のパートを意識しながら、主旋律を生かした表現を工夫しよう。 ・自分の声域にあった音で、伸び伸びとした歌い方をしよう。 ・音や音楽に関心を持ち、楽曲の良さや楽曲の特徴を音楽の要素から捉え、自分の言葉で表現しよう。 ・歌詞の内容や曲想に関心を持ち強弱、速度、旋律になど音楽表現を工夫しよう。 ・自分の声に興味を持ち、声の出し方を工夫しながら、詩の内容や曲想を生かした音楽表現をするために必要な技能を身につけて歌おう。
6月 ～7 月	<p>イメージを膨らませて聴こう</p> <p>「ジョーズ」</p> <p>Jウィリアムズの曲シリーズ</p> <p>情熱大陸 他</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・楽曲の雰囲気や特徴を音楽の要素(強弱・調・音色・旋律の変化など)と関わらせながら聴こう。
9月	<p>曲想と音楽の構造や歌詞の内容とのかかわりについて理解すると共にそれらをいかした歌唱表現を工夫して行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・歌詞の意味を理解し、歌詞と旋律の関わりを感じながら、強弱、速度、言葉の発音など曲に合った表現を工夫し、想いや意図を持って声を出そう。
10 月	<p>(合唱の響きを楽しもう)</p> <p>合唱コンクール曲</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・歌詞や曲想を生かした音楽表現をするために必要な技能(発声発音・呼吸法)を身につけている。

	全校合唱	<ul style="list-style-type: none"> ・紹介文に、共通事項を基盤として工夫してきたことや良さを自分の言葉でまとめ、仲間に紹介しよう。 ・声の強弱、旋律の高低、感じ変化によって生み出される楽曲の特徴に関心を持ち、意欲的に聴いたり、発表したりしよう。
11	音楽の特徴を感じ取り、曲想と音楽の構造との関わりを通してその魅力や表現効果を味わおう	
12	お楽しみに!	<ul style="list-style-type: none"> ・楽曲の雰囲気や特徴を音楽の構造(強弱、調、音色、旋律の変化)と関わらせながら聴こう
1	曲想を感じ取り、心を込めて歌おう	<ul style="list-style-type: none"> ・歌詞の意味を感じ取り、感謝の気持ちを歌に込めて歌うことに意欲的に取り組もう。
2	心通う合唱	<ul style="list-style-type: none"> ・歌詞を生かしながら、強弱、リズム、速度、旋律の重なり、転調などを知覚し、どのように歌うかについて思いや意図を持って工夫しよう。
3	学年合唱他	

学習の指針 (シラバス)

流山市立南部中学校

教科	学年	週時数	使用教材	<教科書> 教育芸術社 中学生の音楽2 <副教材> 歌集(コーラスフェスティバル) 他合唱曲
音楽	2年	1時間		

【学習の目標】 以下の目標を達成するために学習します

A表現【歌唱】

- ① 曲の特徴を捉えたり、言葉と旋律の関係を理解して発声や表現を工夫する。
- ② 音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す曲想や魅力を生かして表現を工夫する。

【創作】

- ① アンサンブルの素材となる言葉の抑揚やリズムを感じ取り、反復、変化、対照などの構成を理解して表現を工夫する

B鑑賞

- ① 音色、リズム、旋律、強弱、を知覚し、その働きが生み出す雰囲気を感じながら、良さを感じ取る。
- ② ソナタ形式の仕組みを理解し、その背景となる歴史と関わらせながら楽曲の良さを感じ取ったり、言葉で伝えたりする。
- ③ 音や音楽から感じ取ったことを言葉で説明することにより、考えを深めたり、自分の価値判断を広げる。

【評価の観点と方法】 通知票は以下の観点についてそれぞれ評価し、総合的に判断して評定が出されます

観 点	評 価 の 方 法
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 創意工夫を生かした音楽表現をするための発声、発音、身体の使い方などの技能を身につけて歌っているか、実技テストや日頃の授業の様子で評価していきます。曲想に合わせた表現の工夫を取り入れ、思いをもって表現しようとしているかがポイントです。 ・ 音楽の要素を手がかりに、楽曲の良さや魅力を自分の言葉で表現し、説明できるか、発表の様子や記述によって評価します。 ・ 音楽を形作っている要素(音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、構成)を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、解釈したり、価値を考えたりして、多様な音楽の良さを味わって聴いているか発表、発言やワークシートによって評価します。 ・ 音楽の特徴とその背景となる歴史との関わりについて理解しているか、ワークシートによって評価します。

<p>思考・判断</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽を作っている要素(音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、構成)を知覚し、それらが生み出す特質や雰囲気を感じながら、音楽表現を工夫し、思いや意図を持って表現しているかを評価していきます。また、歌唱練習(パート練習)での様子や発表での内容、歌唱や表現などのテスト、リフレクションカードの内容も評価対象とします。 ・音色、旋律、テクスチャ、リズム、強弱を知覚し、曲の持つ雰囲気を感じながら知覚したことと感受したことに関わりについて考えたり、表現したりしているか、実技テストや発言、ワークシートによって評価します。(鑑賞、表現ともに)・意欲的に発言したり、友達の意見に興味関心を持って聴こうとしたりしているかを観ていきます (価値を広げる) ・自分の考えや気づきを友達に発信したり、友達との意見交流を積極的に行ったりしている様子を評価します。 ・合唱練習やグループ練習において、主体的・協働的に学習に取り組んでいるかを観ていきます。 ・音や音楽に関心を持ち、自己のイメージを広げて鑑賞し、音楽のよさや魅力について自分の言葉で表現しようとしているか、発表やその発言内容から評価します。ワークシート(鑑賞カード)によっても評価します。
<p>主体的に学習に取り組む態度</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・意欲的に発言したり、友達の意見に興味関心を持って聴こうとしたりしているかを観ていきます。 (価値を広げる) ・自分の考えや気づきを友達に発信したり、友達との意見交流を積極的に行ったりしている様子を評価します。 ・合唱練習やグループ練習において、主体的・協働的に学習に取り組んでいるかを観ていきます。 ・音や音楽に関心を持ち、自己のイメージを広げて鑑賞し、音楽のよさや魅力について自分の言葉で表現しようとしているか、発表やその発言内容から評価します。ワークシート(鑑賞カード)によっても評価します。

観 点	評 価 の 観 点 及 び 内 容
<p>知識・技能</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。 ・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身につけ、歌唱、創作で表現している。
<p>思考・判断・表現</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したことに関わりについて考え、曲にふさわしい音楽表現として、どのように表すかについて、思いや意図をもったリ、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりしている。
<p>主体的に学習に取り組む</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・音や音楽、音楽文化に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的、協働的に

組む態度	表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
------	-------------------------

【教科担任より】 教科を担当する先生から、学習をすすめていくうえでのアドバイスです

中学校での音楽科教育は義務教育の集大成であることを意識し、授業を行っていきます。歌唱・創作などの表現活動や鑑賞活動をすすめていきながら、音楽を形づくっている要素(音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、構成)を手がかりに音楽の魅力やよさについて感じていけるようにしていきたいと思います。

積極的に集中して授業に参加し、楽しんでいきましょう。また、技能を高めていくためには「よく聴く」ということと、音に敏感に取り組んでほしいです。歌唱などの技能テストはありますが、筆記テストはありません。週に1時間ほどの貴重な授業ですので、時間を大切に参加してください。また、忘れ物やワークシート・リフレクションカードの未提出があると、評価材料が減ってしまいますので、注意しましょう。意欲的に取り組み、一緒に音楽に親しんでいきたいと思います。

月	学習内容	時数	学習のねらい	テスト範囲
4	曲想の変化と表現の工夫 「夢の世界を」 「地球星歌」	6 2	・階名唱に意欲的に取り組み、斉唱と3部合唱の響きの違いを味わいながら歌うことができる。 ・声部の役割を感じ取り、横の音楽や縦の音楽、問いと答え、フレーズなど十分にイメージしながら歌うことができる。	観察 ワークシート
5	「天の川」		・八分の6拍子を理解し、拍子を感じながら、歌うことができる。 ・高音の声の出し方などを意識し曲にあった発声で歌うことができる。	
6	実技テスト 音の重なりや反復・変化を理解して創作表現を工夫し、声やリズムによりアンサンブルを楽しもう。	1	・言葉の抑揚やリズム、反復、変化、対照などの構成や音の重ね方など曲の面白さを意欲的に見つけようと取り組んでいる。 ・曲の面白さを活かした表現を工夫することができる。 ・拍に合わせてながら、工夫した事柄を表現する技術を身につけている。	実技テスト 観察
7	オーケストラの楽器 テスト 曲の仕組みを理解して聴こう	4	・オーケストラの楽器の音色や楽器の構造に関心を持って聴くことができる。 ・音色と楽器名を一致させ聴きとり、オーケストラの管弦打楽器の音色を感じ取ることができる。 ・楽器の仕組みや響きに興味を持って聴いている。 ・主題を一生懸命口ずさんだり、反復や追い	ワークシート

9	日本の歌曲に親しもう	2	<p>かけていくカノン風な仕組みに関心を持ち、和声音楽との違いを聴き取ろうと努力している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主題を捉え、フーガであることや多声音楽であることを感じ取ることができる。 ・パイプオルガンの様々な音色を感じ取ることができる。 ・歌詞を解釈したり、言葉と旋律を関連付けたり、雰囲気味わいながら、良い表情で歌うことができる。 ・全体の響きの調和を感じ取りながら響きのある声で歌うことができる。 ・歌詞の内容や言葉の美しさを生かしたフレーズや発音や発声で歌うことができる。 	観察 ワークシート
10	曲想と音楽の構造との関わりを理解して、歌唱表現を工夫しよう	4	<ul style="list-style-type: none"> ・歌詞の内容や言葉の美しさを生かしたフレーズや発音や発声で歌うことができる。 	
11	合唱コンクール クラス曲	2	<ul style="list-style-type: none"> ・紹介文に、音楽の要素(共通事項)を基盤として工夫してきたことや良さを自分の言葉でまとめ、仲間に紹介できる。 ・よりよい表現を工夫することに積極的に関わり、表情豊かに歌うことができる。 ・歌詞、旋律の特徴を捉え、曲にあった表現を工夫できる。 ・曲想に合わせた音色、息のスピードで歌うことができる。 	実技テ
実技テスト				
12	曲想と音楽の構造との関わりを理解して、その魅力を味わおう 動機の展開を伴う形式のおもしろさ 「交響曲第5番ハ短調作品67」	5	<ul style="list-style-type: none"> ・男声の声に支えられた、厚みのあるハーモニーを感じ取りながら歌うことができる。 ・オーケストラの音色に関心を持ち、リズムの反復やリズムの変化を楽曲の雰囲気や曲想と関わらせて聴くことに関心を持って聴いている。 ・リズムの特徴やリズムパターンの反復、組み合わせのおもしろさや関わり効果を知覚し曲想を感じ取っている。 ・歴史的背景に関心を持ち、ベートーベンや楽曲と関わらせながら、良さを言葉で説明するなどして、紹介文を書くことができる。 	観察 ワークシート 批評文
1	尺八の音色を味わおう	3	<ul style="list-style-type: none"> ・尺八の音色や奏法に関心を持ち、聴いている。 ・楽曲の雰囲気や曲想が音色、リズムなどと関わりを持つことに気づき、曲の雰囲気を味わって聴くことができる。 ・曲の良さを音色や奏法と関わらせながら、価値を考え、言葉で説明できる。 	観察
2	曲想を感じ取り、心を込めて歌おう 心通う合唱		<ul style="list-style-type: none"> ・歌詞の意味を感じ取り、感謝の気持ちを歌に 	

	<p>3</p> <p>「大地の歌」 「大地讃頌」 「あなたにあえて」</p>	<p>2</p>	<p>込めて歌うことに意欲的に取り組もう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歌詞を生かしながら、強弱、リズム、速度、旋律の重なり、転調などを知覚し、どのように歌うかについて思いや意図を持って工夫しよう。 ・歌詞を解釈したり、言葉と旋律を関連付けたり、雰囲気・歌詞を解釈したり、しながら、良い表情で歌うことができる。 ・他の声部との関わり(テクスチュア)やリズムのおもしろさ、曲の山、フレーズなどを感じ取りながら、表現を工夫して歌うことができる。 ・全体の響きの調和を感じ取りながら響きのある声で歌うことができる。 	<p>ワークシート</p> <p>観察</p> <p>紹介文</p> <p>観察</p> <p>ワークシート</p>
--	---	----------	--	--

教科	学年	週時数	使用教材	<教科書> 教育芸術社 中学生の音楽3 <副教材> 歌集(コーラスフェスティバル) 他合唱曲
音楽	3年	1時間		

【学習の目標】 以下の目標を達成するために学習します

A表現【歌唱】

- ①旋律と歌詞が一体となった日本歌曲の美しさを味わおう。
- ②曲の特徴を感じ取り、歌詞の内容や曲想を生かし、言葉と旋律の関係を理解して、曲にふさわしい発声や歌い方を工夫して表現する。
- ③音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す曲想や魅力を生かして表現を工夫する。曲想と音楽の構造との関わり、音楽の特徴とその背景との関わりについて理解する。

B鑑賞

- ①音色、リズム、旋律、強弱、構成を知覚し、その働きが生み出す雰囲気を感じながら、良さを言葉で説明することにより、考えを深めたり、自分の価値判断を広げる。(曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさを味わって聴く。)
- ②舞台芸術を通して、その音楽、舞踊などそれぞれ固有の美しさや面白さ、よさがあることに気づき、作風や国、時代、他の芸術との関わりの中でその効果を音楽の諸要素や表現の特徴から理解する。(曲想と音楽の構造との関わり、音楽の特徴とその背景となる歴史との関わりについて理解する。)

【評価の観点と方法】 通知票は以下の観点についてそれぞれ評価し、総合的に判断して評定が出されます

観 点	評 価 の 方 法
知識・技能	・創意工夫を生かした音楽表現をするための発声、発音、身体の使い方などの技能を身につけて歌っているか、実技テストや日頃の授業の様子で評価していきます。曲想に合わせた表現の工夫を取り入れ、思いをもって表現しようとしているかがポイントです。 ・音楽の要素を手がかりに、楽曲の良さや魅力を自分の言葉で表現し、説明できるか、発表の様子や記述によって評価します。 ・音楽を形作っている要素(音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、構成)を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、解釈したり、価値を考えたりして、多様な音楽の良さを味わって聴いているか発表、発言やワークシートによって評価します。 ・音楽の特徴とその背景となる歴史との関わりについて理解しているか、ワークシートによって評価します。
思考・判断・表現	・音楽を作っている要素(音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、構成)を知覚し、それらが生み出す特質や雰囲気を感じながら、音楽表現を工夫し、思いや意図を持って表現しているかを評価していきます。また、歌唱練習(パート練習)での様子や発表での内容、歌唱や表現などのテスト、リフレクションカードの内容も評価対象とします。 ・音色、旋律、テクスチャ、リズム、強弱を知覚し、曲の持つ雰囲気を感じながら知覚したことと感受したことの関わりについて考えたり、表現したりしているか、実技テストや発言、ワークシートによって評価します。(鑑賞、表現ともに)
主体的に学習に取り	・意欲的に発言したり、友達の意見に興味関心を持って聴こうとしたりしているかを観ていきま

組む態度	<p>す。(価値を広げる)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えや気づきを友達に発信したり、友達との意見交流を積極的に行ったりしている様子を評価します。 ・合唱練習やグループ練習において、主体的・協働的に学習に取り組んでいるか観ていきます。 ・音や音楽に関心を持ち、自己のイメージを広げて鑑賞し、音楽のよさや魅力について自分の言葉で表現しようとしているか、発表やその発言内容から評価します。ワークシート(鑑賞カード)によっても評価します。
------	---

観 点	評 価 の 観 点 及 び 内 容
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。 ・創意工夫を生かして音楽表現をするために必要な技能を身につけ、歌唱、創作で表現している。
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい音楽表現として、どのように表すかについて、思いや意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりしている。
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・音や音楽、音楽文化に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的、協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

【教科担任より】 教科を担当する先生から、学習をすすめていくうえでのアドバイスです

中学校での音楽科教育は義務教育の集大成であることを意識し、授業を行っていきます。歌唱・創作などの表現活動や鑑賞活動をすすめていきながら、音楽を形づくっている要素(音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、構成)を手がかりに音楽の魅力やよさについて感じていけるようにしていきたいと思います。積極的に集中して授業に参加し、楽しんでいきましょう。また、技能を高めていくためには「よく聴く」ということと、音に敏感に取り組んでほしいです。歌唱などの技能テストはありますが、筆記テストはありません。週に1時間ほどの貴重な授業ですので、時間を大切に参加してください。また、忘れ物やワークシート・リフレクションカードの未提出があると、評価材料が減ってしまいますので、注意しましょう。意欲的に取り組み、一緒に音楽に親しんでいきたいと思っています。

	月	学習内容	学習のねらい
	4	日本の詩のよさや美しさを利用して、歌唱表現を工夫しよう。	<ul style="list-style-type: none"> ・歌詞の内容や旋律の動き、強弱などに関心を持ち、学習に主体的に取り組むことができる。 ・旋律、歌詞、強弱などの特質を知覚し、それらが生み出す特質や雰囲気を感じることができる。 ・旋律、リズム、強弱などを生かした音楽表現をするために必要な発声などの技術を生かして斉唱や重唱を楽しんでいる。
	5	花(混声2部合唱) 郷愁歌(混声4部合唱)	
	6	日本の四季～21世紀に歌い継ぎたい日本の歌メドレー～ 交響詩「我が祖国」より ブルタバ	

7	能「羽衣」から 合唱曲の選定	<ul style="list-style-type: none"> ・楽曲がつけられた歴史的背景について関心を持ち、意欲的に学習している。 ・日本の伝統音楽に興味関心を持ち、能の特徴やよさを感じ取って聴くことができる。
9	世界の諸民族の音楽	<ul style="list-style-type: none"> ・世界各国の様々な音楽にふれ、特徴やよさをとらえながら聴くことができる。 ・音楽の構成や文化に関心を持ち、楽曲と関わらせながら、良さを言葉で説明することができる。
10	曲想と音楽の構造との関わりを理解して、歌唱表現を工夫しよう 混声合唱の響きを味わおう 合唱コンクール自由曲	<ul style="list-style-type: none"> ・歌詞の内容を解釈し、言葉を生かした表現を工夫することに意欲的にとりむることができる。 ・声部の役割を感じ取り、フレーズや横の音楽、縦の音楽など知覚し、曲想を感じながらイメージして歌うことができる。
11	イタリア歌曲 「帰れソレントへ」	<ul style="list-style-type: none"> ・曲想を生かしたよりよい表現を行うために工夫しながら歌うことが出来る。 ・カンツォーネの雰囲気にあった歌い方を意識して歌うことができる。
12	歌唱テスト 送る会の歌	<ul style="list-style-type: none"> ・思いや意図を持って、よりよい表現を工夫することうことができる。
1 2	卒業の歌 「いのちの歌」など 心を込めて歌おう	<ul style="list-style-type: none"> ・歌詞、旋律の特徴を捉え、曲にあった表現を工夫できる。 ・男声の声に支えられた、4部合唱の厚みのあるハーモニーを感じ取りながら歌うことができる。

令和6年度 第1学年 美術科 学習の指針(シラバス)

週時数 1.3時間

1 美術科の目標

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを旨とする。
 (1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。
 (2) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。
 (3) 美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、感性を豊かにし、心豊かな生活を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

2 第1学年の学年の目標

(1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて表現方法を工夫して表すことができるようにする。
 (2) 自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、機能性と美しさとの調和、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を広げたりすることができるようにする。
 (3) 楽しく美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を創造していく態度を養う。

3 学習計画及び評価方法等

学期	月	題材名	学習の目標		観点別評価規準		
			知	主	知	主	
第1学期	4・5・6・7	レタリングの達人になる	知 文字デザインの表現の豊かさを理解しよ明朝体・ゴシック体を描けるようになる。	主 美しい文字デザインに関心を持ち、主体的に表現しよう。	知 字体ごとの形の特徴や、それらが感情にもたらす効果などをもとに、全体のイメージで捉えることを理解している。	主 美術の創造活動の喜びを味わい、文字デザインの伝える目的や機能、効果などを考えた表現の学習活動に楽しく取り組もうとしている。	
			技能 材料や用具の使い方などを身につけ、美しい構図やバランスして制作の順序などを考え、見直しをもって表している。	主 美術の創造活動の喜びを味わい、文字のデザインなどの伝える目的や機能をもった作品の鑑賞の学習活動に楽しく取り組もうとしている。			
		メッセージ ～形と色彩～	知 形や色彩の性質を理解し、材料などを工夫して表そう。	主 目的や条件などをもとに、伝える相手や内容に合った作品を考えよう。	知 形や色彩、材料などの性質や、それらが感情にもたらす効果などをもとに、全体のイメージでとらえることを理解している。	主 伝える目的や条件などをもとに、伝える相手や内容などから主題を生み出し、わかりやすさと美しさなどの調和を考え、表現の構想を練っている。	主 伝える目的や機能との調和のとれた洗練された美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を広げている。
			技能 材料や用具の使い方を身につけ、意図に応じてつくり方を工夫し制作の順序を考えながら見直しをもって表している。	主 生活や社会を豊かにする形や色彩に関心をもとう。	主 美術の創造活動の喜びを味わい、伝える目的や機能などを考えた表現の学習活動に楽しく取り組もうとしている。	主 美術の創造活動の喜びを味わい、伝える目的や機能をもった作品を鑑賞する学習活動に楽しく取り組もうとしている。	
			発想・構想 伝える目的や条件などをもとに、伝える相手や場面などのイメージから主題を生み出し、形や色彩などが感情にもたらす効果や、伝達の効果と美しさなどの調和を考え、伝わりやすく美しい表現の構想を練っている。	主 わかりやすく伝えるデザインに関心をもち、主体的に表現しよう。	主 美術の創造活動の喜びを味わい、主題を生み出し、形や色彩などが感情にもたらす効果や、伝達の効果と美しさなどの調和を総合的に考えて構想を練り、意図に応じて創意工夫し見直しをもって表す表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。	主 美術の創造活動の喜びを味わい、伝達のデザインの調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に主体的に取り組もうとしている。	
			鑑賞 伝達のデザインの調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。	知 作品の造形的な特徴を理解し、若冲の作風をとらえよう。	知 形や色彩などの性質や、それらが感情にもたらす効果などをもとに若冲の作品について全体のイメージや作風で捉えることを理解している。	技能 意図に応じて表現方法を創意工夫して、制作の順序などを総合的に考えながら、見直しをもって表している。	
	知 形や色彩などの性質及びそれらが感情にもたらす効果や、構成の美しさなどの造形的な特徴などをもとに、わかりやすさと美しさとの調和などを全体のイメージでとらえることを理解している。	知 作品の造形的な特徴を理解し、若冲の作風をとらえよう。	知 形や色彩などの性質や、それらが感情にもたらす効果などをもとに若冲の作品について全体のイメージや作風で捉えることを理解している。	技能 意図に応じて表現方法を創意工夫して、制作の順序などを総合的に考えながら、見直しをもって表している。			
	知 目的や条件などをもとに、伝える相手や場面などのイメージから主題を生み出し、形や色彩などが感情にもたらす効果や、伝達の効果と美しさなどの調和を考え、伝わりやすく美しい表現の構想を練っている。	知 作品の造形的な特徴を理解し、若冲の作風をとらえよう。	知 形や色彩などの性質や、それらが感情にもたらす効果などをもとに若冲の作品について全体のイメージや作風で捉えることを理解している。	技能 意図に応じて表現方法を創意工夫して、制作の順序などを総合的に考えながら、見直しをもって表している。			

第2学期	9・10・11	仰天! ～伊藤若冲の世界～	思	作品のよさや美しさを感じ取り、若冲の意図や表現の工夫について考えよう。	思	発想・構想	
			鑑賞		作品がもつよさや美しさを感じ取り、作者の言葉を手がかりにして作者の意図や表現の工夫について考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を広げている。		
		見よ!日本のDNA ～つくし絵～	学	若冲の作品を楽しく鑑賞しよう。	主	態度	
			鑑賞		美術の創造活動の喜びを味わい、若冲の作品や関連する美術文化の鑑賞の学習活動に楽しく取り組もうとしている。		
			知	ものの見方やとらえ方を理解し、の屏風絵の構図を参考に描き方や配置を工夫して表そう。	知	態度	美術の創造活動の喜びを味わい、動物や植物がもつ形や色彩の美しさ、生命感などをもとに見方や感じ方を広げる鑑賞の学習活動に楽しく取り組もうとしている。
			技能		描画材料の特性を生かし、「黒抜き・重色」の条件をもとに描き方を工夫して表している。		
思	身近なもののよさや美しさから描きたいものを考え、屏風絵の構図を生かし効果的な表現を工夫しよう。	思	発想・構想	身近なものの特徴、よさや美しさなどから主題を生み出し、描きたいものを考え工夫して構想をしている。			
鑑賞		造形的なよさや美しさ、作者の心情や意図について考え、見方や感じ方を広げている。					
学	好きなものを描くことを楽しみ、日本的構図の妙を表現することを楽しもう。	主	態度	美術の創造活動の喜びを味わい、身近なものがもつ形や色彩などから構想を練るなどして工夫して表す活動に楽しく取り組もうとしている。			
鑑賞		美術の創造活動の喜びを味わい、身近なものがもつ形や色彩などをもとに見方や感じ方を広げる鑑賞の学習活動に楽しく取り組もうとしている。					
第2・3学期	12・1・2・3	魂、宿る ～「命の形」彫刻～	知	表したいものの形や色彩、質感をとらえ、立体に表そう。	知	知識	形や色彩などが感情にもたらす効果や、立体感や量感、質感や動きなど造形的な特徴などをもとに、よさや美しさ、生命感を全体のイメージで捉えることを理解している。
			技能		材料や用具の使い方を身につけ、意図に応じてつくり方を工夫し制作の順序を考えながら見通しをもって表している。		
			思	表したいものの特徴から発想を広げ、生命力のある表現を考えよう。	思	発想・構想	動物や植物から感じ取ったよさや美しさ、生命感から主題を生み出し、全体の構成を考えながら表現する構想を練っている。
		鑑賞		生命力を感じる作品のもつ造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や意図などについて考え、見方や感じ方を広げている。			
		知	生き生きとした姿を表現することに関心をもとう。	主	態度	美術の創造活動の喜びを味わい、動物や植物がもつ形や色彩の美しさ、生命感などをもとに構想を練ったり、意図に応じて工夫したりして表す活動に楽しく取り組もうとしている。	
					鑑賞	美術の創造活動の喜びを味わい、動物や植物がもつ形や色彩の美しさ、生命感などをもとに見方や感じ方を広げる鑑賞の学習活動に楽しく取り組もうとしている。	
第3学期	3	見よ!日本のDNA ～祭りの造形～	知	伝統行事に生きる造形とそれを支える技術について理解しよう。	知	知識	形や色彩、材料や光などの性質や、それらが感情にもたらす効果などをもとに、伝統行事に生きる地域の文化遺産などについて全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。
			技能				
			思	伝統行事の造形的なよさや美しさを感じ取り、美術文化の見方や感じ方を広げよう。	思	発想・構想	伝統文化に生きる地域の文化遺産などのよさや美しさなどを感じ取り、美術文化について考えるなどして、見方や感じ方を広げている。
鑑賞							
学	風土や伝統に根差した造形に関心をもとう。	主	態度	美術の創造活動の喜びを味わい楽しく伝統文化に生きる地域の文化遺産などの鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。			
鑑賞							

評価材料

- ・作品(進度毎) ・スケッチブック(アイデアスケッチ等) ・ワークシート(振り返り、鑑賞等) ・練習課題作品
- ・取り組みの様子 ・発言、発表 ・対話の内容

評価算出方法

A=3点、B=2点、C=1点、、評定不能=0点として3つの観点別評価を合計し、下の表に照らして評定を算出します。

評定	観点別評価の合計
5	9点
4	8点
3	5～7点
2	4点
1	3点

使用教科書 開隆堂出版 「美術I発見と創造」

令和6年度 第2学年 美術科 学習の指針(シラバス)

週時数 1時間

1 美術科の目標

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを旨とする。
 (1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。
 (2) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。
 (3) 美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、感性を豊かにし、心豊かな生活を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

2 第2学年及び第3学年の学年の目標

(1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて自分の表現方法を追求し、創造的に表すことができるようにする。
 (2) 自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、機能性と洗練された美しさとの調和、美術の働きなどについて独創的・総合的に考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。
 (3) 主体的に美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を創造していく態度を養う。

3 学習計画及び評価方法等

学期	月	題材名	学習の目標	観点別評価規準
第1学期	4・5・6	～魂、宿～ 「命の形」彫刻	知 表したいものの形や表情、質感をとらえ、立体に表そう。	知 形や動き、表情などが感情にもたらす効果や、立体感や量感、質感や動きなど造形的な特徴などをもとに、よさや美しさ、生命感を全体のイメージで捉えることを理解している。
			思 表したいものの特徴から発想を広げ、生命力のある表現を考えよう。	思 動物から感じ取ったよさや美しさ、生命感から主題を生み出し、全体の構成を考えながら表現する構想を練っている。 生命力を感じる作品のもつ造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や意図などについて考え、見方や感じ方を広げている。
			学 生き生きとした姿を表現することに興味をもとう。	主 美術の創造活動の喜びを味わい、動物や植物がもつ形や色彩の美しさ、生命感などをもとに構想を練ったり、意図に応じて工夫したりして表す活動に楽しく取り組もうとしている。 美術の創造活動の喜びを味わい、動物がもつ形や表情、動きの美しさ、生命感などをもとに見方や感じ方を広げる鑑賞の学習活動に楽しく取り組もうとしている。
		見よ!日本のDNA ～金の表現、墨の表現～	知 障屏画や水墨画の内容や造形的な特徴を理解しよう。	知 形や色彩、金や墨など材料の性質や、余白や空間の効果をもとに障屏画や水墨画の美術作品について全体のイメージや作風をとらえることを理解している。
			思 障屏画や水墨画のよさや美しさを感じ取り、美術文化の見方や感じ方を深めよう。	思 作品がもつよさや美しさを感じ取り、障屏画や水墨画の作者の制作の意図や表現の工夫、関連する美術文化の継承と創造について考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。
			学 障屏画や水墨画に関心をもち、主体的に鑑賞しよう。	主 美術の創造活動の喜びを味わい、障屏画や水墨画の作品や関連する美術文化などの見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に主体的に取り組もうとしている。
		見よ!日本のDNA ～琳派のデザイン性～	知 琳派の造形的な特徴を理解しよう。	知 形や色彩、材料などの性質や、構成の美しさなどをもとに琳派の作品について全体のイメージや作風をとらえることを理解している。
			思 琳派の造形のよさや美しさを感じ取り、美術文化の見方や感じ方を深めよう。	思 琳派の作品がもつよさや美しさを感じ取り、独特のデザイン性を用いた作者の制作の意図や表現の工夫、関連する美術文化の継承や創造について考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。
				主 美術の創造活動の喜びを味わい、障屏画や水墨画の作品や関連する美術文化などの見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に主体的に取り組もうとしている。

7 ・ 9 ・ 1 0 ・ 1 1 ・ 1 2	第 2 学 期	見よ!日本のDNA 生命力を感じて ～なんちゃって日本画～	学	琳派の造形に関心をもち、主体的に鑑賞しよう。	主	態度	美術の創造活動の喜びを味わい、琳派の作品や関連する美術文化などの見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に主体的に取り組もうとしている。
			知	表したいものの形や色彩、質感をとらえ、障壁画の構図を参考に効果的に表そう。	知	知識	形や色彩などが感情にもたらす効果や、立体感や量感、質感や動きなど造形的な特徴などをとらえ、よさや美しさ、生命感を全体のイメージで捉えることを理解している。
			思	表したいものの特徴から発想を広げ、生命力のある表現を考えよう。	思	発想・構想	動物や植物から感じ取ったよさや美しさ、生命感から主題を生み出し、全体の構成を考えながら表現する構想を練っている。
			学	生き生きとした姿を表現することに関心をもちよう。	主	態度	美術の創造活動の喜びを味わい、動物や植物がもつ形や色彩の美しさ、生命感などをとらえながら構想を練ったり、意図に応じて工夫したりして表す活動に楽しく取り組もうとしている。
		見よ!日本のDNA ～伝統と創造～	知	伝統の技から生まれる新しい造形について理解しよう。	知	知識	形や色彩、材料などの性質及びそれらが感情にもたらす効果や、それらがもたらす造形的な特徴などをとらえ、全体のイメージでとらえることを理解している。
			思	伝統を生かした造形のよさや美しさを感じ取り、美術文化の見方や感じ方を広げよう。	思	発想・構想 鑑賞	伝統を生かした造形の目的や機能と調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えたり、美術文化の継承と創造について考えたりするなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。
			学	伝統から生まれる創造性に関心をもち、主体的に鑑賞しよう。	主	態度	美術の創造活動の喜びを味わい、伝統を生かした造形の調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に主体的に取り組もうとしている。
		革工芸 一生モノの文具 ～模様のデザイン～	知	身近なものの特徴をとらえ、単純化や繰り返しなどの表し方を工夫しよう。	知	知識	形や色彩、材料などの性質や、それらが感情にもたらす効果などをとらえ、全体のイメージで捉えることを理解している。
			思	身近なものの特徴や色彩から発想したデザインを考えよう。	思	発想・構想 鑑賞	構成や装飾の目的や条件などをとらえ、材料の特徴や用いる場面などから主題を生み出し、美的感覚を働かせて調和のとれた美しさなどを考え、表現の構想を練っている。
			学	生活を豊かにする模様のデザインに関心をもちよう。	主	態度	美術の創造活動の喜びを味わい、構成や装飾の目的や機能などを考えた表現の学習活動に楽しく取り組もうとしている。
		彩る ～ガラス皿～	知	身近なものの特徴をとらえ、単純化や繰り返しなどの表し方を工夫しよう。	知	知識	材料などの性質や加工方法、それらが感情にもたらす効果などをとらえ、全体のイメージで捉えることを理解している。
			思	身近なものの特徴や色彩から発想したデザインを考えよう。	思	発想・構想 鑑賞	構成や装飾の目的や条件などをとらえ、材料の特徴や用いる場面などから主題を生み出し、美的感覚を働かせて調和のとれた美しさなどを考え、表現の構想を練っている。

第3学期 1・2・3	学	生活を豊かにする模様デザインの関心をもち、生活をもとにデザインを工夫しよう。	主	態表	美術の創造活動の喜びを味わい、構成や装飾の目的や機能などを考えた表現の学習活動に楽しく取り組もうとしている。	
				鑑賞	美術の創造活動の喜びを味わい、構成や装飾の目的や機能をもった作品の鑑賞の学習活動に楽しく取り組もうとしている。	
	知	材料の性質を理解し、抽象的な形を表現する方法を工夫しよう。	知	知識	形や色彩、材料の質感やまわりの空間などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などをもち、それらがもつ強さや美しさ、緊張感などを全体のイメージでとらえることを理解している。	
				技能	材料や用具の特性を生かし、意図に応じて自分の表現方法を追求し、制作の順序などを総合的に考えながら見直しをもって表している。	
	思	形や色彩を単純化、抽象化しながら表現の構想を練ろう。	思	発想・構想	対象を深く見詰め感じ取ったことや考えたこと、想像したことなどをもち、主題を生み出し、省略や強調、材料の特徴などを考え、創造的な構成を工夫するなどして、心豊かに表現する構想を練っている。	
				鑑賞	対象を深く見詰め感じ取ったことや考えたこと、想像したことなどをもち、つくられた作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や意図などについて考え、見方や感じ方を深めている。	
	学	抽象的な彫刻に関心をもち、主体的に取り組もう。	主	態表	美術の創造活動の喜びを味わい、形や色彩の美しさ、材料の質感やまわりの空間がもたらす効果などをもち、創造的に構成するなどして制作された立体の表現活動に主体的に取り組もうとしている。	
				鑑賞	美術の創造活動の喜びを味わい、形や色彩の美しさ、材料の質感やまわりの空間がもたらす効果などをもち、創造的に構成するなどして制作された立体作品の鑑賞の学習活動に主体的に取り組もうとしている。	
	祈りの形 ～仏像の美～	知	仏像に特有な造形表現について理解しよう。	知	知識	形や色彩、材料などの性質及びそれらが感情にもたらす効果をもとに仏像について空間の効果、量感や動勢など全体のイメージや作風でとらえることを理解している。
					技能	
		思	仏像の造形的なよさや美しさを感じ取り、見方や感じ方を深めよう。	思	発想・構想	
					鑑賞	仏像がもつよさや美しさ、優しさや力強さ、静寂さなどを感じ取り、それぞれの時代ごとの表現の工夫、関連する美術文化の継承と創造について考えたりするなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。
学		仏像に興味を持ち、主体的に観賞しよう。	主	態表		
				鑑賞	美術の創造活動の喜びを味わい、仏像や関連する美術文化などの見方や感じ方を高める鑑賞の学習活動に主体的に取り組もうとしている。	

評価材料

・作品(進度毎) ・スケッチブック(アイデアスケッチ等) ・ワークシート(振り返り、鑑賞等) ・練習課題作品
 ・取り組みの様子 ・発言、発表 ・対話の内容

評価算出方法

A=3点、B=2点、C=1点、評価不能=0点として3つの観点別評価を合計し、下の表に照らして評定を算出します。

評定	観点別評価の合計
5	9点
4	8点
3	5～7点
2	4点
1	3点

使用教科書 開隆堂出版「美術2・3探求と継承」

令和6年度 第3学年 美術科 学習の指針(シラバス)

週時数 1時間

1 美術科の目標

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを旨とする。
 (1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。
 (2) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。
 (3) 美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、感性を豊かにし、心豊かな生活を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

2 第2学年及び第3学年の学年の目標

(1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて自分の表現方法を追求し、創造的に表すことができるようにする。
 (2) 自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、機能性と洗練された美しさとの調和、美術の働きなどについて独創的・総合的に考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。
 (3) 主体的に美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を創造していく態度を養う。

3 学習計画及び評価方法等

学期	月	題材名	学習の目標	観点別評価規準
第1学期	4・5・6	唯一無二 ～ガラスに彫る～	知 身近なものの特徴をとらえ、単純化や繰り返しなどの表し方を工夫しよう。	知 材料などの性質や加工方法、それらが感情にもたらす効果などをもとに、全体のイメージで捉えることを理解している。 技能 サンドブラストの制作手順を理解するとともに用具の使い方などを身につけ、意図に応じて工夫し、制作の順序などを考え、見直しをもって表している。
			思 身近なものや色彩から発想したデザインを考えよう。	思 発想・構想 構成や装飾の目的や条件などをもとに、材料の特徴や用いる場面などから主題を生み出し、美的感覚を働かせて調和のとれた美しさなどを考え、表現の構想を練っている。 鑑賞 目的や機能との調和のとれた美しさなどを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を広げている。
			学 生活を豊かにする模様のデザインに関心をもち、工夫しよう。	主 態表 美術の創造活動の喜びを味わい、構成や装飾の目的や機能などを考えた表現の学習活動に楽しく取り組もうとしている。 態鑑 美術の創造活動の喜びを味わい、構成や装飾の目的や機能をもった作品の鑑賞の学習活動に楽しく取り組もうとしている。
	4・5・6	幻燈 ～幻想・やすらぎ～	知 材料や光の性質を理解し、生活の中で生きる明かりを工夫しよう。	知 描き出す情景と、材料や光の性質及びそれらが感情にもたらす効果や、それらがもたらす造形的な特徴などをもとに、全体のイメージでとらえることを理解している。 技能 材料や用具の特性を理解し、意図に応じて表現方法を創意工夫して、制作の順序などを総合的に考えながら、見直しをもって表している。
			思 使い目的や用途から発想し、美しい明かりの作品を構想しよう。	思 発想・構想 使う目的や条件などをもとに、使用する者の立場、使用する場所、社会との関わりなどから主題を生み出し、使いやすさや機能、安全性と美しさなどの調和を総合的に考え、表現の構想を練っている。 鑑賞 明かりのデザインの目的や機能と調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。
			学 明かりの光の美しさに関心をもち、主体的に取り組もう。	主 態表 美術の創造活動の喜びを味わい、主題を生み出し、形や技法、材料や光などが感情にもたらす効果や、目的や機能と美しさとの調和、使用する者の気持ち、使用する場所などを総合的に考えて構想を練り、意図に応じて創意工夫し見直しをもって表す表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。 態鑑 美術の創造活動の喜びを味わい、明かりのデザインの調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に主体的に取り組もうとしている。

第1・2学期	7・9・10	美しきものたち ～構想画～	知	色彩や材料などの性質を理解し、想像の世界を表す方法を工夫しよう。	知	知識 色や色彩、材料などが感情にもたらす効果や造形的な特徴などをとらえることを理解している。
			思	想像を広げ、思い描いた世界を表現する作品の構想を練ろう。	思	発想・鑑賞 風景や動植物、想像した心の世界などから主題を生み出し、単純化や省略、強調などを考えながら材料や用具の特徴を生かし心豊かに表現する構想を練っている。 想像の世界を表した作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。
			学	夢や想像の世界を表現することに関心をもち、主体的に取り組もう。	主	態表・態鑑 美術の創造活動の喜びを味わい、風景や動植物、想像した心の世界などから感じ取ったことや考えたことなどをとらえて材料や用具の特徴を生かした表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。 美術の創造活動の喜びを味わい、夢や想像の世界を表した作品の鑑賞の学習活動に主体的に取り組もうとしている。
第2学期	11・12	見よ!日本のDNA ～琳派のデザイン性～	知	琳派の造形的な特徴を理解しよう。	知	知識 形や色彩、材料などの性質や、構成の美しさなどをとらえて琳派の作品について全体のイメージや作風をとらえることを理解している。
			思	琳派の造形のよさや美しさを感じ取り、美術文化の見方や感じ方を深めよう。	思	発想・鑑賞 琳派の作品がもつよさや美しさを感じ取り、独特のデザイン性を用いた作者の制作の意図や表現の工夫、関連する美術文化の継承や創造について考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。
			学	琳派の造形に関心をもち、主体的に鑑賞しよう。	主	態表・態鑑 美術の創造活動の喜びを味わい、琳派の作品や関連する美術文化などの見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に主体的に取り組もうとしている。
	見よ!日本のDNA ～伝統と創造～	知	伝統の技から生まれる新しい造形について理解しよう。	知	知識 形や色彩、材料などの性質及びそれらが感情にもたらす効果や、それらがもたらす造形的な特徴などをとらえて、全体のイメージをとらえることを理解している。	
		思	伝統を生かした造形のよさや美しさを感じ取り、美術文化の見方や感じ方を広げよう。	思	発想・鑑賞 伝統を生かした造形の目的や機能と調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えたり、美術文化の継承と創造について考えたりするなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。	
		学	伝統から生まれる創造性に関心をもち、主体的に鑑賞しよう。	主	態表・態鑑 美術の創造活動の喜びを味わい、伝統を生かした造形の調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に主体的に取り組もうとしている。	
	蒔絵 ～伝統と共に～	知	漆など蒔絵の材料性質を理解し、生活の中で生きる蒔絵作品を工夫しよう。	知	知識 形や色彩、材料などの性質や、それらが感情にもたらす効果などをとらえて、全体のイメージを捉えることを理解している。	
		思	使う目的や用途から発想し、蒔絵の技法を生かす作品を考えよう。	思	発想・鑑賞 使う目的や条件などをとらえて、使用する者の立場、使用する場所、社会との関わりなどから主題を生み出し、使いやすさや機能、安全性と美しさなどの調和を総合的に考え、表現の構想を練っている。 目的や機能との調和のとれた漆工芸の美しさなどを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を広げている。	

第3学期 1・2・3	響き合い ～時間を彩る～	学	伝統工芸作品に関心を持ち、主体的に取り組もう。	主	<p>態表 美術の創造活動の喜びを味わい、主題を生み出し、形や技法、材料などが感情にもたらす効果や、目的や機能と美しさとの調和、使用する者の気持ち、使用する場所などを総合的に考えて構想を練り、意図に応じて創意工夫し見通しをもって表す表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。</p> <p>鑑賞 美術の創造活動の喜びを味わい、時絵の洗練された美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして見方や感じ方を深める鑑賞の学習に主体的に取り組もうとしている。</p>
		知	材料や光の性質を理解し、生活の中の時を彩るを工夫しよう。	知	<p>知識 描き出す情景と、材料の性質や技法及びそれらが感情にもたらす効果や、それらがもたらす造形的な特徴などをともに、全体のイメージでとらえることを理解している。</p> <p>技能 材料や用具の特性を理解し、意図に応じて表現方法を創意工夫して、制作の順序などを総合的に考えながら、見通しをもって表している。</p>
		思	使い目的や用途から発想し、美しい壁掛け時計のデザインをを構想しよう。	思	<p>発想・構想 使う目的や条件などをともに、使用する者の立場、使用する場所、社会との関わりなどから主題を生み出し、使いやすさや機能、安全性と美しさなどの調和を総合的に考え、表現の構想を練っている。</p> <p>鑑賞 時計デザインの目的や機能と調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。</p>
		学	ガラス絵の美しさに関心を持ち、主体的に取り組もう。	主	<p>態表 美術の創造活動の喜びを味わい、主題を生み出し、形や技法、材料や技法などが感情にもたらす効果や、目的や機能と美しさとの調和、使用する者の気持ち、使用する場所などを総合的に考えて構想を練り、意図に応じて創意工夫し見通しをもって表す表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。</p> <p>鑑賞 美術の創造活動の喜びを味わい、時計のデザインの調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に主体的に取り組もうとしている。</p>
		知	ルネサンスの美術について理解しよう。	知	<p>知識 形や色彩、材料などの性質、立体感や遠近感などをともにルネサンスの美術について全体のイメージや作風でとらえることを理解している。</p> <p>技能 西洋で受け継がれてきた表現の特質などからルネサンスの美術作品がもつよさや美しさ、静けさなどを感じ取り、新たな表現を目指した作者の制作の意図や表現の工夫、関連する文化や社会について考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。</p>
		思	ルネサンス美術の造形的なよさや美しさを感じ取り、見方や感じ方を深めよう。	思	<p>発想・構想 西洋で受け継がれてきた表現の特質などからルネサンスの美術作品がもつよさや美しさ、静けさなどを感じ取り、新たな表現を目指した作者の制作の意図や表現の工夫、関連する文化や社会について考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。</p>
	学	ルネサンスの美術に興味をもち、主体的に鑑賞しよう。	主	<p>態表 美術の創造活動の喜びを味わいルネサンスの美術作品や関連する美術や科学などの文化を考えるなどして、見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に主体的に取り組もうとしている。</p>	
	光をとらえる ～印象派～	知	印象派の美術について理解しよう	知	<p>知識 形や色彩、材料などの性質及びそれらが感情にもたらす効果をもとに印象派の美術について全体のイメージや作風でとらえることを理解している。</p> <p>技能 西洋で受け継がれてきた表現の特質や日本の影響などから印象派の美術作品がもつよさや美しさを感じ取り、新たな表現を目指した作者の制作の意図や表現の工夫、関連する文化や社会的背景について考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。</p>
		思	印象派の作品のよさや美しさを感じ取り、見方や感じ方を深めよう。	思	<p>発想・構想 西洋で受け継がれてきた表現の特質や日本の影響などから印象派の美術作品がもつよさや美しさを感じ取り、新たな表現を目指した作者の制作の意図や表現の工夫、関連する文化や社会的背景について考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。</p>
		学	印象派の美術に関心を持ち、主体的に鑑賞しよう。	主	<p>態表 美術の創造活動の喜びを味わい、印象派の美術作品や関連する美術文化や社会的背景、日本の影響などを考えるなどして、見方や感じ方を高める鑑賞の学習活動に主体的に取り組もうとしている。</p>

評価材料

- ・作品(進度毎) ・スケッチブック(アイデアスケッチ等) ・ワークシート(振り返り、鑑賞等) ・練習課題作品
- ・取り組みの様子 ・発言、発表 ・対話の内容

評価算出方法

A=3点、B=2点、C=1点、評価不能=0点として3つの観点別評価を合計し、下の表に照らして評定を算出します。

評定	観点別評価の合計
5	9点
4	8点
3	5～7点
2	4点
1	3点

使用教科書 開隆堂出版 「美術2・3探求と継承」

学 習 の 指 針 (シラバス)

教科名	技術	実施学年	1年	週時数	2時間(隔週)
-----	----	------	----	-----	---------

1. 学習の目標等

学習の目標	(1) 材料と加工に関する基礎的・基本的な知識と技術を習得する。 (2) 技術と社会や環境との関わりについて理解を深め、活用する能力と態度を見に付ける。
使用教科書 副教材 等	教科書: 開隆堂 技術・家庭 技術分野 副教材: (ワーク) 技・家ノート 技術分野 (3年間使用)

2. 学習計画及び評価方法等

月	学習内容	学習のねらい	備考	評価
4	オリエンテーション ・ガイダンス	・授業の進め方を説明 ・学習評価方法についての説明		作品 定期テスト プリント ワーク
5	材料と加工 ・材料について	・材料の特徴や性質を理解し、製作に必要な知識をつける。		
6	・製作図	・設計図を理解して、加工工程を作成。		
7 9	・けがき	・設計図から必要な寸法を読み取り、木材にけがきを行う。		
10	・切断	・両刃のこぎりを使用して、正確に切断する。 ・切断した部品を寸法通りに加工する。		
11 12	・部品加工	(さしがね、直角定規を使い寸法をはかり、加工する) ・仮組みを繰り返しながら部品の修正を行う。(やすり等を利用して)		
1	・部品検査、修正	・組み立てに必要なけがきを行う。		
2	・組み立て	・組み立てを行う。		
3		(接合方法、手順を正確に行う) ・組み立て後、検査と修正を行う。 ・組み立て後の仕上げを行う。		

3. 評価について

(1) 評価の観点及び内容

	評価の観点及び内容	評価材料
知識・理解	<ul style="list-style-type: none"> ・用具を正しく安全に扱えているか。 ・作業を正確に行うために、慎重な作業を進められる。 (前時の工程の確認を行っているか) ・作業工程の中で、適切な工具を選んで使うことができる。 ・工具を正しく使い、作業を正確に行える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・レポート ・作業技能 ・作業知識 ・発表 ・話し合い
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・作業内容を理解して、自分なりの工夫をして作業を進めようとしている。 ・工夫した創造的な作品を作り上げることができる。 ・課題に対して、自分なりの考えを持ち、課題に沿った内容でレポートをまとめられる。 ・自分の意見を持って、発表ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・話し合い ・発表 ・レポート
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・集中して作業に取り組め、その日の学習課題に到達することができたか。 ・粘り強く取り組んでいるか。 ・課題解決に向けて、級友の意見も活かしながら、取り組めているか。 ・準備・片付けにも協力して取り組んでいるか。 ・作業内容について理解し、自主的に作業を進めることができているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・話し合い ・レポート ・授業姿勢 ・授業観察

(2) 観点別評価からの評定の算出の仕方

A=3点 B=2点 C=1点 として3つの観点別評価を合計し、下の表に照らして評定を算出します。

評定	観点別評価の合計
5	9点
4	8点
3	7~5点
2	4点
1	3点

学 習 の 指 針 (シラバス)

教科名	技術	実施学年	2年	週時数	2時間(隔週)
-----	----	------	----	-----	---------

1. 学習の目標等

学習の目標	(1) エネルギー変換に関する基礎的・基本的な知識を習得する。 (2) 生物育成に関する基礎的・基本的な技術を身につける。 (3) 情報を扱う上で、必要とされるモラルを理解し、安全に利用する方法を身に付ける。 (4) 技術と社会や環境との関わりについて理解を深め、活用する能力と態度を身に付ける。
使用教科書 副教材 等	教科書: 開隆堂 技術・家庭 技術分野 副教材: (ワーク) 技・家ノート 技術分野(3年間使用)

2. 学習計画及び評価方法等

月	学習内容	学習のねらい	備考	評価
4	オリエンテーション ・ガイダンス	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の進め方を説明 ・学習評価方法についての説明 ・生活と環境とのつながりを知る。 		
5	生物育成 ・私たちの生活と生物育成	<ul style="list-style-type: none"> ・土壌栽培と養液栽培について知る。 ・栽培計画を立てる。 		作品 レポート
6	・生物の育成 ・作物の栽培 ・実習	<ul style="list-style-type: none"> ・植物の仕組みについて知る。 ・発芽の環境について知る。 		
7	・生物育成に関する技術の評価・活用	<ul style="list-style-type: none"> ・肥料や農薬の使い方について知る。 ・生産性の向上や環境に関して知る。 ・栽培の研究・開発について知る。 		
9	エネルギー変換 ・電気エネルギーの変換と利用を知る。	<ul style="list-style-type: none"> ・自然界にあるエネルギー資源をどのように生活に生かしているかを知る。 		作品 ノート 発表
10	・電気機器の仕組みを知る。	<ul style="list-style-type: none"> ・エネルギー資源の変換方法を知る。 ・機器の多くが電気エネルギーを利用している理由を考える。 		
11	・電気機器の保守と点検方法を知る。	<ul style="list-style-type: none"> ・電気回路の構成をまとめる。 ・回路計の使い方を知り、使い方を身に付ける。 ・回路計を使い、部品の検査ができる。 		
12	・電気エネルギーを利用した作品を製作する。	<ul style="list-style-type: none"> ・半田付けの方法を知り、実験回路を組むことができる。 ・安全に注意して組み立てができる。 		
1	情報	<ul style="list-style-type: none"> ・目的に応じた利用手段を選択できる。 		
2	・情報の正しい管理方法と、コンピュータの望ましい活用方法を知る。	<ul style="list-style-type: none"> ・情報管理とモラルの重要性を説明できる。 		
3				

3. 評価について

(1) 評価の観点及び内容

	評価の観点及び内容	評価材料
知識・理解	<ul style="list-style-type: none"> ・用具を正しく安全に扱えているか。 ・作業を正確に行うために、慎重な作業を進められる。 (前時の工程の確認を行っているか) ・作業工程の中で、適切な工具を選んで使うことができる。 ・工具を正しく使い、作業を正確に行える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・レポート ・作業技能 ・作業知識 ・発表 ・話し合い
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・作業内容を理解して、自分なりの工夫をして作業を進めようとしている。 ・工夫した創造的な作品を作り上げることができる。 ・課題に対して、自分なりの考えを持ち、課題に沿った内容でレポートをまとめられる。 ・自分の意見を持って、発表ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・話し合い ・発表 ・レポート
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・集中して作業に取り組み、その日の学習課題に到達することができたか。 ・粘り強く取り組んでいるか。 ・課題解決に向けて、級友の意見も活かしながら、取り組んでいるか。 ・準備・片付けにも協力して取り組んでいるか。 ・作業内容について理解し、自主的に作業を進めることができているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・話し合い ・レポート ・授業姿勢 ・授業観察

(2) 観点別評価からの評定の算出の仕方

A=3点 B=2点 C=1点 として3つの観点別評価を合計し、下の表に照らして評定を算出します。

評定	観点別評価の合計
5	9点
4	8点
3	7~5点
2	4点
1	3点

学 習 の 指 針 (シラバス)

教科名	技術	実施学年	3年	週時数	1時間(隔週)
-----	----	------	----	-----	---------

1. 学習の目標等

学習の目標	<p>(1) コンピュータの基礎的な知識を習得する。</p> <p>(2) ソフトを利用し、情報を適切に処理することができる。また、その結果をレポートにすることができる。</p> <p>(3) コンピュータでデータ処理の方法を学ぶ、また、プログラムを作成して制御することができる。</p>
使用教科書 副教材 等	<p>教科書: 開隆堂 技術・家庭 技術分野</p> <p>副教材: (ワーク) 技・家ノート 技術分野 (3年間使用)</p>

2. 学習計画及び評価方法等

月	学習内容	学習のねらい	備考	評価
4	オリエンテーション ・ガイダンス	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の進め方を説明 ・学習評価方法についての説明 		作品 定期テスト プリント ワーク
5	情報 ・情報とわたしたちの生活	<ul style="list-style-type: none"> ・情報の正しい管理方法とコンピュータの望ましい活用方法を考える。 		
6	・情報通信ネットワークの利用	<ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータを構成する各装置の働きについてまとめる。 		
7	・情報通信ネットワークと情報セキュリティ	<ul style="list-style-type: none"> ・ハードウェアとソフトウェアについて調べ、その役割を理解する。 		
9	・情報モラルと知的財産	<ul style="list-style-type: none"> ・情報を扱う際のルールやマナーなどの必要性を知る。 		
10	・コンピュータと情報処理	<ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータが機器を制御している例を調べる。 		
11	・デジタル作品の設計と制作			
12	・プログラムによる計測・制御	<ul style="list-style-type: none"> ・プログラム、情報処理の手順について調べる。 		
1	・情報に関する技術の評価・活用	<ul style="list-style-type: none"> ・情報に関して学んだことを生かそうとしている。 		
2				
3				

3. 評価について

(1) 評価の観点及び内容

	評価の観点及び内容	評価材料
知識・理解	<ul style="list-style-type: none"> ・用具を正しく安全に扱えているか。 ・作業を正確に行うために、慎重な作業を進められる。 (前時の工程の確認を行っているか) ・作業工程の中で、適切な工具を選んで使うことができる。 ・工具を正しく使い、作業を正確に行える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・レポート ・作業技能 ・作業知識 ・発表 ・話し合い
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・作業内容を理解して、自分なりの工夫をして作業を進めようとしている。 ・工夫した創造的な作品を作り上げることができる。 ・課題に対して、自分なりの考えを持ち、課題に沿った内容でレポートをまとめられる。 ・自分の意見を持って、発表ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・話し合い ・発表 ・レポート
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・集中して作業に取り組み、その日の学習課題に到達することができたか。 ・粘り強く取り組んでいるか。 ・課題解決に向けて、級友の意見も活かしながら、取り組めているか。 ・準備・片付けにも協力して取り組んでいるか。 ・作業内容について理解し、自主的に作業を進めることができているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・話し合い ・レポート ・授業姿勢 ・授業観察

(2) 観点別評価からの評定の算出の仕方

A=3点 B=2点 C=1点 として3つの観点別評価を合計し、下の表に照らして評定を算出します。

評定	観点別評価の合計
5	9点
4	8点
3	7~5点
2	4点
1	3点

学 習 の 指 針 (シラバス)

教科名	家庭	実施学年	1年	授業時数	隔週2時間
-----	----	------	----	------	-------

1 学習の目標等

学習目標	実践的・体験的な学習活動を通して、生活の自立に必要な衣食住に関する基礎的な知識と技術を習得するとともに、家庭の機能について理解を深め、課題を持って生活をよりよくしていく力と態度を身につける。
使用教科書・副教材	「技術・家庭 家庭分野」(開隆堂)

2 学習計画及び評価方法等

月	学習内容	学習のねらい	備考	評価
4	家庭科の授業をはじめよう	・小学校の学習を振り返り、3学年間の見直しをもって学習に取り組むことができる。	1時間	○ワークシート
4～12	1 布を用いた物の製作	1 製作しよう ・自分や家族の生活を豊かにする物を考えることができる。 ・製作に必要な材料・用具を理解し、安全に取り扱うことができる。 ・布を用いた物の製作に関心をもって取り組み、自分や家族の生活を豊かにすることができる。 ・衣生活や住生活を豊かにするための製作品を考え、製作計画や方法について自分なりに工夫することができる。 ・安全で能率よく、布を用いた物の製作をすることができる。 ・目的に応じた縫い方を理解し、実践することができる。 ※ウォールポケットの作成を行う予定	20時間	○ワークシート ○作品
1	1 日常着の活用	1 自分らしくコーディネート、衣服のはたらき ・目的に沿って、適切な衣服を選び、個性を生かす着用について考え、自分らしい着方を工夫することができる。 ・既製服を選択するための情報を収集・整理することができる。 ・衣服の社会生活上の機能について理解する。 ・衣服の計画的な活用の必要性を理解する。 ・既製服の表示と選択に当たったの留意事項について理解する。 ・衣服の社会生活上のはたらきを理解する。 ・目的に合った服装について考え、表現することができる。 2 衣服の構成 ・和服と洋服の構成の違いや和服の着方を理解する。 3 衣服の入手計画と選び方 ・衣服の計画的な活用について考え、表現することができる。 ・既製服を選ぶポイント、サイズや取り扱い絵表示の見方を理解し、衣服の適切な選択ができる。	4時間	○ワークシート ○小テスト ○定期テスト
2	2 日常着の手入れ	1 衣服の汚れと手入れ ・衣服の状態に合わせた、手入れの必要性を理解する。 ・衣服の状態に合わせた、適切な手入れができる。 2 衣服の素材と手入れ ・衣服の素材に適した手入れを理解する。 ・取り扱い絵表示の意味を理解して、適切な手入れの方法を選択することができる。 3 衣服の洗濯 ・衣服素材に合った洗剤を選び、適切な量で使用することができる。 ・取り扱い絵表示を参考にして、洗濯を工夫することができる。 4 衣服の収納と保管 ・アイロン温度を適切に設定し、安全に使うことができる。 ・衣服を適切に収納・保管できる 5 衣服の補修 ・補修の目的と布地に適した方法で補修をすることができる。	4時間	○ワークシート ○小テスト ○定期テスト

	環境に配慮した衣生活 ・環境に配慮した衣生活(洗濯・補修)に関心をもつ ・環境に配慮した洗濯の方法や洗剤について問題意識を持ち、実践することができる	長期休み課題	○レポート
2・3	1 住まいのはたらき	1 住まいの様々な役割 ・住まいの基本的なはたらき、住まいに必要な空間とその役割を理解する。 ・住まいのはたらきを自分の生活に重ねて考え、工夫することができる。 2 共に住まう ・家族によって住まい方が違うことを理解する。 ・家族の生活行為と住まいの空間とのかかわりを理解する。	2時間 ○ワークシート ○小テスト ○定期テスト
	2 健康で安全な住まい	1 家族の健康と室内環境 ・室内の空気が汚れる原因を知り、健康に配慮した住まい方を工夫することができる。 2 家庭内の安全 ・家庭内の事故の種類とその原因を知る。 ・家族の安全を考えた住まい方を工夫することができる。	2時間 ○ワークシート ○小テスト ○定期テスト
	3 住まいと地域	1 災害への備え ・災害への備えの必要性がわかり、住まいや地域における工夫をすることができる。 2 災害時の住まい ・地域とつながる視点から、安全で快適な住まい方について考えることができる。 3 地域に配慮した住まい方 ・住まい方が地域に及ぼす影響がわかり、住まい方を工夫できる。 ・生活騒音の種類と問題点を理解し、適切な防音対策を工夫できる。	2時間 ○ワークシート ○小テスト ○定期テスト
	これからの住生活と環境 ・環境に配慮した住まい方を考え、地球温暖化との共生に関心をもつことができる。 ・持続可能な社会の実現に向けて、住まい方を工夫することの大切さを理解し、実践しようとする。	長期休み課題	○レポート

3 評価の観点及び内容

(1) 評価の観点及び内容・評価材料

	評価の観点及び内容	評価材料
知識・技能	日常生活に必要な家族や家庭、衣食住、消費や環境などについて理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けている。	○小テスト、定期テスト ○作品(ウォールポケット) ○技能テスト
思考・判断・表現	日常生活の中から問題を見いだして課題を設定し、様々な解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	○定期テスト ○ワークシート
主体的に学習に取り組む態度	家族の一員として、生活をよりよくしようと、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとしている。	○ワークシート、自己評価カード ○授業態度、取り組み ○選択課題

A=3点、B=2点、C=1点、評定不能=0点として5つの観点別評価を合計し、下の表に照らして評定を算出します。

評定	観点別評価の合計
5	9点
4	8点
3	5~7点
2	4点
1	3点

学 習 の 指 針 (シ ラ バ ス)

教科名	家庭	実施学年	2年	授業時数	隔週2時間
-----	----	------	----	------	-------

1 学習の目標等

学習目標	実践的・体験的な学習活動を通して、生活の自立に必要な衣食住に関する基礎的な知識と技術を習得するとともに、家庭の機能について理解を深め、課題を持って生活をよりよくしていく力と態度を身につける。
使用教科書・副教材	「技術・家庭 家庭分野」(開隆堂)、ワーク

2 学習計画及び評価方法等

学習内容	学習のねらい	備考	評価
家庭科の授業をはじめよう	・見通しをもって学習に取り組む。	1時間	○ワークシート
1 健康と食生活	1 食事の役割について考える ・食事の役割について理解し、毎日の食生活に関心をもつことができる。 2 生活習慣と食事 ・食事を規則正しくとることの重要性を理解することができる。 3 中学生に必要な栄養 ・栄養素の種類とはたらきを理解する。 ・食事摂取基準をする。 ・中学生に必要な栄養の特徴について理解する。 4 食品と栄養素 ・食品の栄養的な特徴と食品群別摂取量のめやすについて理解する。 5 食事の計画 ・中学生に必要な食品の種類や概量と、1日分の献立の立て方を理解し、実際に献立を立てることができる。	7時間	○ワークシート、ワーク ○小テスト ○定期テスト
2 食品の選択と保存	1 生鮮食品と加工食品 ・生鮮食品・加工食品の特徴を理解することができる。 2 食品の表示 ・食品の表示の意味、良否の見分け方について理解することができる。 3 食品の選択・購入と保存 ・食品の鮮度や表示を見て、自分で選択・購入できる。 ・食品の適切な保存のしかたとその理由を理解することができる。 4 食品の安全と情報 ・食の情報を正確に読み取り、自分で判断できるようにする。	4時間	○ワークシート、ワーク ○小テスト ○定期テスト

<p>3 調理をしよう</p>	<p>1 調理の計画 ・調理の目的や流れと手順がわかり、計画を立てることができる。 ・安全と衛生に留意し、環境に配慮した調理について理解する。</p> <p>2 調理の基本 ・調理に必要な計量器具や調理器具を正しく使うことができる。 ・包丁の使い方を知り、いろいろな切り方ができる。 ・盛りつけ・配膳や食卓のマナーについて理解する。</p> <p>3 肉の調理 ・肉の特徴と選び方を理解する。 ・肉の調理上の性質を理解し、その特性を生かした調理ができる。 ・肉の適切な取り扱いができ、安全や衛生、環境に配慮し、協力して調理実習ができる。</p> <p>4 魚の調理 ・魚の特徴と選び方を理解する。 ・魚の調理上の性質を理解し、その特性を生かした調理ができる。 ・魚の適切な取り扱いができ、安全や衛生、環境に配慮し、協力して調理実習ができる。</p> <p>5 野菜の調理 ・野菜の特徴や新鮮な野菜の選び方を理解する。 ・野菜の調理上の性質を理解し、その特性を生かした調理ができる。 ・野菜の適切な取り扱いができ、安全や衛生、環境に配慮し、協力して調理実習ができる。</p>	<p>20時間</p>	<p>○ワークシート ○小テスト、定期テスト ○技能テスト ○調理実習の様子</p>
<p>4 地域の食材と食文化</p>	<p>1 地域の食材と郷土料理 ・地域で生産されている食品にはどんなものがあり、その食品がどのような料理に使われているのか考えることができる。 ・地域の食品を調理に用いることの利点に気づくことができる。 ・地域で生産される食材の調理を通して、地域の食文化を理解することができる。</p> <p>2 受け継がれる食文化 ・日本の行事食について知り、行事食を生活に</p>	<p>3時間</p>	<p>○ワークシート、ワーク ○小テスト ○定期テスト</p>
<p>衣食住の生活についての課題と実践 ・食生活の中から問題を見出して、課題を設定し、その解決に向けてよりよい生活を考え、計画を立てて実践できる。</p>		<p>長期休み課題</p>	<p>○レポート</p>

3 評価の観点及び内容

(1) 評価の観点及び内容・評価材料

	評価の観点及び内容	評価材料
知識・技能	日常生活に必要な家族や家庭、衣食住、消費や環境などについて理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けている。	○定期テスト、小テスト ○技能テスト
思考・判断・表現	日常生活の中から問題を見出して課題を設定し、様々な解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	○定期テスト、小テスト ○ワークシート
主体的に学習に取り組む態度	家族の一員として、生活をよりよくしようと、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとしている。	○レポート ○授業態度、実習の取り組み ○ワークシート

A=3点、B=2点、C=1点、評定不能=0点として5つの観点別評価を合計し、下の表に照らして評定を算出します。

評定	観点別評価の合計
5	9点
4	8点
3	5~7点
2	4点
1	3点

学 習 の 指 針 (シ ラ バ ス)

教科名	家庭	実施学年	3年	授業時数	隔週1時間
-----	----	------	----	------	-------

1 学習の目標等

学習目標	実践的・体験的な学習活動を通して、生活の自立に必要な衣食住に関する基礎的な知識と技術を習得するとともに、家庭の機能について理解を深め、課題を持って生活をよりよくしていく力と態度を身につける。
使用教科書・副教材	「技術・家庭 家庭分野」

2 学習計画及び評価方法等

月	学習内容	学習のねらい	備考	評価
4	家庭科の授業をはじめよう	・1年間の見直しをもって学習に取り組む。	1時間	○ワークシート
5	わたしの成長と家族・地域	わたしを支えてくれた家族や周囲の人びと ・中学生になるまでの自分を振り返り、多くの人々に支えられてきたことに気づくことができる。 ・家族や周囲の人々とのかかわりについて考えることができる。		
6	1 わたしたちと家族・家庭と地域	1 家庭のはたらき ・家庭での活動を考え、家庭には様々なはたらきがあることを理解する。 2 家庭の仕事を支える社会 ・家庭での活動を考え、家庭には様々なはたらきがあることに気付くことができる。 3 わたしたちの家庭生活と地域 ・家庭生活と地域とのかかわりについて理解する。	2時間	○ワークシート
7	2 幼児の生活と遊び	1 わたしの成長をたどる ・自分の成長をふり返り、幼児期の特徴について理解する。 2 幼児の体の発達 ・幼児の体の発達の特徴を理解する。 3 幼児の心の発達 ・幼児の心の発達の特徴を理解する。 4 幼児の心身の発達と家族の役割 ・幼児の生活の特徴を知り、家族の役割について理解する。 5 子どもの成長と地域 ・自分の成長を感じつつ、子どもの成長と地域のかかわりについて理解する。 6 幼児の遊びと発達 ・幼児の遊びの特徴に気づくとともに、幼児の遊びの意義について理解する。 7 幼児の遊びを支える ・遊びの道具の製作を通して、幼児の遊びに役割や遊びを支える環境について考えることができる。	3時間	○ワークシート ○定期テスト ○作品
9	3 幼児とのふれ合い	1 ふれ合い前について ・幼児とふれ合うことのねらいや学習内容を知る。 ・幼児とのふれ合いに関心をもち、幼児の発達と生活について、自分の課題を見つけることができる。 ・自分の課題にそって、幼児とふれ合うための具体的なかかわり方を考え、工夫することができる。	2時間	○ワークシート ○取り組みの姿勢 ○レポート
10				

10	4 幼児の身のまわりのものの製作	1 スタイの製作 ・スタイの製作を通して、幼児の生活に関わるものについて考え、自分で工夫して製作に取り組むことができる。	5.5時間	○作品 ○ワークシート
11	5 これからのわたしと家族	1 中学生と家族とのかかわり ・家族とのかかわりに関心を持ち、家族関係をよりよくする方法を考えることができる。 2 これからのわたしと家族との関係 ・これからの自分と家族とのかかわりや自分との生活に関心をもつことができる。	1時間	○ワークシート
	1 家庭生活と消費	消費生活のしくみ ・消費生活のしくみを理解する。 ・自分や家族の消費生活について関心を持ち、消費の在り方を改善しようとする。	1時間	○ワークシート ○定期テスト
12	2 商品の選択と購入	1 商品購入のプロセス ・必要なもの（ニーズ）とほしいもの（ウォンツ）のちがいをわかり、商品購入のプロセスを理解する。 2 生活情報の活用 ・商品を購入したり利用したりするときの生活情報の収集や活用のしかたを理解する。 3 販売方法と支払い方法 ・店舗販売と無店舗販売それぞれの特徴を理解する。 ・前払い、即時払い、後払いの特徴を理解する。		
1 2 3	3 よりよい消費生活のために	1 契約と消費生活のトラブル ・契約について理解する ・消費生活のトラブルを理解し、その予防方法、対処方法について考えることができる。 2 消費者を支えるしくみ ・消費者を支える法律・制度・機関の必要性を理解する。 ・クーリング・オフの方法を理解する。 3 消費者の権利と責任 ・基本的な消費者の権利と責任を理解する。	2時間	○ワークシート ○定期テスト

3 評価の観点及び内容

(1) 評価の観点及び内容・評価材料

	評価の観点及び内容	評価方法
知識・技能	日常生活に必要な家族や家庭、衣食住、消費や環境などについて理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けている。	○定期テスト
思考・判断・表現	日常生活の中から問題を見出して課題を設定し、様々な解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	○定期テスト ○ワークシート ○レポート
主体的に学習に取り組む態度	家族の一員として、生活をよりよくしようと、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとしている。	○ワークシート ○レポート

A=3点、B=2点、C=1点、評定不能=0点として5つの観点別評価を合計し、下の表に照らして評定を算出します。

評定	観点別評価の合計
5	9点
4	8点
3	5～7点
2	4点
1	3点